

医史学関係文献目録 (五十音順)

平成21(2009)年

順天堂大学医史学研究室編

- | | | |
|-------------------|------------------|----------------------------|
| 01 単行本 | 23 疾病史 | 45 皮膚科史 |
| 02 医学切手・書画 | 24 耳鼻咽喉科史 | 46 泌尿器科史 |
| 03 医学教育 | 25 種痘史 | 47 病院史 |
| 04 医学用語 | 26 獣医学史 | 48 病跡学 |
| 05 医師会・学会 | 27 書簡 | 49 病理学史 |
| 06 医史学一般 | 28 書誌学 | 50 風俗史 |
| 07 医の倫理 | 29 小児科史 | 51 仏教医学史 |
| 08 医療器械 | 30 神経学史 | 52 法医学史 |
| 09 医療制度史・医療史 | 31 診断学史 | 53 放射線医学史 |
| 10 衛生・公衆衛生史・予防医学史 | 32 整形外科史 | 54 本草学史・博物学史 |
| 11 解剖学史 | 33 精神医学史 | 55 麻醉学史 |
| 12 眼科史 | 34 生物学史 | 56 門人録 |
| 13 看護史 | 35 西洋医学史 | 57 薬学史 |
| 14 寄生虫学史 | 36 生化学史 | 58 蘭学史 |
| 15 教室・大学史 | 37 生理学史 | 59 リハビリテーション関係史 |
| 16 軍陣医学史 | 38 地方史 | 60 検査 |
| 17 形成外科学史 | 39 治療史 | 61 その他 |
| 18 外科史 | 40 伝記 | 62 中国語文献 |
| 19 細菌学史 | 41 伝記(双) | 63 韓国語文献 |
| 20 産婦人科史 | 42 伝染病史・防疫史・感染症史 | 64 欧文文献 |
| 21 歯学史 | 43 東洋医学史・伝統医学史 | 今回は36, 56, 63にあたる文献はありません。 |
| 22 史跡・記念碑 | 44 内科史 | |

01 単行本

石井拓男, 渋谷鉦, 西巻明彦『スタンダード歯科医学史』学建書院

大分県歯科医師会, 中津歯科医師会『小幡英之助先生没後100年顕彰 歯科祭記念誌』

佐賀大学地域学歴史文化研究センター『『小城藩日記』にみる近世詐害学・洋学史料〈前編〉』

高島文一『医学天正記について』思文閣

中村光夫『長野の疱瘡神』

中村光夫『山梨の疱瘡神・Ⅱ』

中村光夫『山梨の疱瘡神・Ⅲ』

長崎大学医学部創立150周年記念会『長崎大学医学部創立百五十周年記念誌』

深井雅海, 藤實久美子(編)『近世公家名鑑編年集成 2』柊風舎

ミヒエル・ヴォルフガング, 鳥井裕美子, 川寫真人『九州の蘭学—越境と交流—』思文閣

ミヒエル・ヴォルフガング, 吉田洋一, 大島明秀『史料と人物Ⅱ』中津市歴史民俗資料館

三好俊吉郎著・後藤乾一解題「南方軍政関係史料 39 ジャワ占領軍政回顧録〈付〉東印度民族運動ノ現状(外務省南洋局)」龍溪書舎

02 医学切手・書画

- 「連載コラム「切手で見る皮膚科学」の紹介」小野公義『STETHOSCOPE』(189)3-5
- 「切手で医学散歩 ワクチン(1)他 538-585」金山知新『Medical Tribune』42(1/2-52/53)
- 「「くすり」だった「皇國葡萄酒」酒井シヅ『CLINICIAN』(575)3-6
- 「シーボルトが収集した国絵図・出版図と和紙見本帳について—蒐集と公開の19世紀—」杉本史子, 室岡ゆかり, 国木田明子, 高島晶彦『東京大学史料編纂所研究紀要』(191)
- 「豆腐小僧と天然痘について(抄) Tofu Boy and Smallpox」竹原直道『日本医史学雑誌』55(2)161
- 「近年収集した絵葉書・病院関係」寺畑喜朔『医譚』(106)164-165
- 「『病草紙』にみられる絵図の連続性の研究(抄)」西巻明彦, 屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』28(2)133-134
- 「病草紙と刷掃指導(その2)(抄)」西巻明彦, 屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』28(2)135
- 「新聞にみる明治期北海道の売薬広告(II) 世相を反映する売薬広告(抄)」本間克明『薬史学雑誌』44(2)81
- 「小さな紙片から広がる世界① ローマの格言」村上信之『大塚薬報』(642)62-64
- 「小さな紙片から広がる世界② 青い空—イタリアの街—」村上信之『大塚薬報』(643)54-56
- 「小さな紙片から広がる世界③ 美の宝庫ヴァチカン」村上信之『大塚薬報』(644)56-58
- 「小さな紙片から広がる世界④ ノルウェーヴァイキング子孫の文化」村上信之『大塚薬報』(645)58-60
- 「小さな紙片から広がる世界⑤ 政情不安なパキスタン」村上信之『大塚薬報』(646)56-58
- 「小さな紙片から広がる世界⑥ フランスならではの…というイメージとセンス」村上信之『大塚薬報』(647)52-54
- 「『加賀三味薬と幕末・金沢図屏風に描かれた宮竹屋』(抄)」米澤義光『薬史学雑誌』44(2)124-126

03 医学教育

- 「看護学生がとらえた戴帽式の意義(抄)」天野志保, 曾根清美, 金澤曉民『国立病院総合医学会講演抄録集63回』695
- 「韓国近代医学教育史—京城帝大医学部, 京城医学専門学校で学んだ韓日3名の医学者の証言—」石田純郎『医学史研究』(91)1-14
- 「韓国近代薬学教育史資料—日韓併合時代を中心に—」石田純郎『薬史学雑誌』44(1)31-37
- 「『済生学舎医事新報第一号』について(抄)」石橋肇, 卯田昭夫, 米長悦也, 渋谷鉦, 谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』28(2)130-131
- 「性教育の歴史の変遷 明治時代からの発展および今後の課題と展望(抄)」上田邦枝, 石原昌『思春期学』27(1)59
- 「ある物理学研究室の挑戦—パイロット養成から医療人養成へ—(抄)」串田一樹『薬史学雑誌』44(2)122
- 「中川米造「医学概論」・受講記—その2—, —その3—」後藤幸一『医学史研究』(91-92)20-24, 16-19
- 「大学における看護学教育の歴史とその構造 大学教育制度の変遷に焦点を当てて(抄)」三瓶眞貴子『看護学矛盾論研究会学術集会研究発表資料集』1, 4-10
- 「【学士入学制度調査を中心とした海外諸国における医学教育事情視察調査(第二報)】マレーシアの医学教育」別府正志, 奈良信雄『医学教育』40(5)311-315
- 「看護学教育のこれから 看護学教育の歴史を振り返って」松下年子, 岡部恵子『埼玉医科大学看護学科紀要』2(1)1-9
- 「思春期男子の性教育 新しい理論と実践戦略に向けて わが国における男子性教育の歴史」茂木輝順『思春期学』27(1)36-40

04 医学用語

- 「医師という意味の外国語」泉彪之助『医譚』(106)113-129
- 「医師という意味の外国語(抄)」泉彪之助『医譚』(106)163-164

- 「日本ペインクリニック学会用語集の歴史とその周辺」森脇克行，馬櫓功，有田英子他『日本ペインクリニック学会誌』16(4) 501-504
- 「「ベルツの日記」に表れる病名に関する考察」山上勝久『医譚』(106) 161-162

05 医師会・学会

- 「神経学教育と韓国の神経学学会の歴史 (Neurology Education and the History of the Korean Neurological Association) (英語)」Lee Kwang-Woo『臨床神経学』49(11) 964-965
- 「神経学教育と台湾神経学学会の歴史 (Neurology Education and History of Taiwan Neurological Society) (英語)」Tsai Ching-Piao『臨床神経学』49(11) 966-967
- 「1950年代の沖縄社会福祉協議会に関する考察 1958年までの組織整備を中心に」石井洗二『四国学院大学論集』129, 1-20
- 「日本産科婦人科学会熊本地方部会の歴史 (抄)」大場隆『日本産科婦人科学会熊本地方部会雑誌』(53) 98
- 「精神病理・精神療学会の30年 (抄)」高橋隆夫『精神医学史研究』13(1) 77
- 「多文化間精神医学会の昨日・今日・明日 早すぎるのだろうか，ぼくたちは？ 多文化間精神医学会の歴史と展望 (抄)」野田文隆『こころと文化』8(2) 190-191
- 「『医学史研究』創刊の頃—50年前の話—」野村拓『医学史研究』(91) 表3
- 「産業精神衛生研究会の歩みと北海道の産業精神衛生の歴史」古屋統『北方産業衛生』47, 55-66
- 「全国地域リハビリテーション研究会からの発信 全国地域リハビリテーション研究会の歴史と今後の展開」松坂誠應『地域リハビリテーション』4(7) 610-611

06 医史学一般

- 「人類と病気のかかわり ダーウィン医学的発想 歴史の中の薬 薬と食 (抄)」井上誠『Anthropological Science』117(1) 32-33
- 「紙の寶石 EXLIBRIS ⑩ Antonin Trybの蔵書票

- ほか」上野賢一『大塚薬報』(642) 75-77
- 「紙の寶石 EXLIBRIS ⑪ Zoonの蔵書票ほか」上野賢一『大塚薬報』(643) 67-69
- 「紙の寶石 EXLIBRIS ⑫ ワルターの蔵書票ほか」上野賢一『大塚薬報』(644) 69-71
- 「紙の寶石 EXLIBRIS ⑬ Bovrlatの蔵書票ほか」上野賢一『大塚薬報』(645) 71-73
- 「紙の寶石 EXLIBRIS ⑭ Carl Schirrenの蔵書票ほか」上野賢一『大塚薬報』(646) 69-72
- 「紙の寶石 EXLIBRIS21 Blaschko (ブラシュコ)の蔵書票」上野賢一『大塚薬報』(647) 65-67
- 「紙の寶石 EXLIBRIS22 Blaschko (ブラシュコ)の原図・ブラシュコ線」上野賢一『大塚薬報』(648) 73-75
- 「紙の寶石 EXLIBRIS23 マルチン・グンペルト他」上野賢一『大塚薬報』(649) 63-65
- 「紙の寶石 EXLIBRIS24 Max Woltersの蔵書票他」上野賢一『大塚薬報』(650) 67-69
- 「紙の寶石 EXLIBRIS25 ヴィルヘルム・ホイクの蔵書票」上野賢一『大塚薬報』(651) 65-67
- 「20世紀のある医師たちの記録」上野陽里『医学史研究』(91) 25-33
- 「日高家資料の寄贈報告」扇浦正義『鳴滝紀要』(19) 55-76
- 「近世—江戸期の《女性医師》」太田妙子『医譚』(106) 88-100
- 「臨床に役立つ医学史 (抄)」加島雅之『日本東洋医学雑誌』60 (別冊) 194
- 「ノーベル賞を受賞した外科医達」兼松隆之『日本手術医学会誌』30(1) 6-9
- 「【全ゲノム関連解析と多因子疾患】全ゲノム関連解析 歴史的背景と現状」鎌谷直之『最新医学』64(4) 805-813
- 「日本近代医学史研究が遺したものの「日本近代医学史」全4巻の刊行を終えて」神谷昭典『医学史研究』(91) 15-19
- 「医学史から vol.22 ダイエット」酒井シヅ『すこやか健保』722, 2
- 「医学史から vol.23 『解体新書』と筋」酒井シヅ『すこやか健保』723, 2
- 「医学史から vol.24 メタボリック症候群」酒井

- シヅ『すこやか健保』724, 2
- 「医学史から vol.25 ホルモン」酒井シヅ『すこやか健保』725, 2
- 「医学史から vol.26 マスク」酒井シヅ『すこやか健保』726, 2
- 「医学史から vol.27 ビタミン」酒井シヅ『すこやか健保』727, 2
- 「医学史から vol.28 アレルギー」酒井シヅ『すこやか健保』728, 2
- 「医学史から vol.29 ストレス」酒井シヅ『すこやか健保』729, 2
- 「医学史から vol.30 カンフル注射」酒井シヅ『すこやか健保』730, 2
- 「医学史から vol.31 アキレス腱」酒井シヅ『すこやか健保』731, 2
- 「医学史から vol.32 喉仏とアダムのリンゴ」酒井シヅ『すこやか健保』732, 2
- 「医学史から vol.33 魂胆・肝胆・肝腎」酒井シヅ『すこやか健保』733, 2
- 「小金井良精と「ワルダイエ先生」序章蔵書票をめぐる旅」桜井奈穂子『長岡郷土史』(46)
- 「落語のなかの幕末医療人(抄)」三遊亭竜楽『日本医史学雑誌』55(2)139
- 「医療史回り舞台 江戸城本丸の医療システム」篠田達明『整形・災害外科』52(3)292
- 「医療史回り舞台 戦国武将直江兼続が愛用した医薬書」篠田達明『整形・災害外科』52(4)408
- 「医療史回り舞台 ダーウィンを悩ませた原因不明の慢性病」篠田達明『整形・災害外科』52(6)776
- 「医療史回り舞台 戦国武将石田三成の脱水症と頭蓋骨」篠田達明『整形・災害外科』52(7)899
- 「医療史回り舞台 医療の主役だった瀉血療法」篠田達明『整形・災害外科』52(8)998
- 「医療史回り舞台 インフルエンザに倒れた大横綱」篠田達明『整形・災害外科』52(9)1100
- 「医療史回り舞台 ヘボン博士の下肢切断術」篠田達明『整形・災害外科』52(10)1210
- 「医療史回り舞台 戦国武将・真田一族生き残りの知恵」篠田達明『整形・災害外科』52(12)1540
- 「遺伝学の源流(その3)」柴田昭『日本臨床内科医学会誌』23(5)469-476
- 「滋賀医科大学附属図書館資料展示会「湖国の医史:先人たちの活躍を知る」報告 規格から開催まで」菅修一, 辰野直子, 寺升夕希『医学図書館』56(2)161-166
- 「江戸時代の体重管理と養生(抄)」鈴木則子『日本医史学雑誌』55(2)150
- 「『続日本紀』にみる奈良時代の医療福祉」鈴木英鷹『大阪河崎リハビリテーション大学紀要』3(2)3-22
- 「性の進化とその歴史」高波真佐治『思春期学』27(1)5-9
- 「私の視点 ふたつの驚き—「医学史の表と裏」のつづき」橋正道『ミクروسコピア』26(2)90-91
- 「江戸時代の防災体制『四谷塩町一丁目古文書』を中心に(抄)」田村真澄, 内藤明子, 勝野とわ子『日本保健科学学会誌』12(Suppl.)17
- 「モンゴロイド大陸移動の人類遺伝学的解析 人類遺産としての園田・田島コレクション細胞壇上稲穂, 中村幸夫『医学のあゆみ』231(7)781-782
- 「老婆の姿の疱瘡神についての一考察」寺岡茂樹『京都民俗』(25)
- 「備忘録から その十四 日向熱と鏡熱(下) 残された謎と病原体の位置づけ」中山宏明『ミクロスコピア』26(1)45-47
- 「備忘録から その十五 オカザキフラグメントの誕生」中山宏明『ミクロスコピア』26(2)135-137
- 「備忘録から その十六 メイブルさん」中山宏明『ミクロスコピア』26(3)227-229
- 「備忘録から その十七 第二の人生を日本で送ったメアリーL.ロビンス先生の思い出」中山宏明『ミクロスコピア』26(4)313-315
- 「プラタヌス(ヒポクラテスの木)の受容と新宿御苑(抄)」西巻明彦『日本歯科医史学会誌』28(2)110-111
- 「「江戸東京」から広がる個人リポジトリ(抄)」堀江幸司『医学情報サービス研究大会抄録集26回』29

- 「健康をめぐる歴史パノラマ マイモニデス」眞壁伍郎『総合看護』44(1)35-48
- 「健康をめぐる歴史パノラマ イブン・ハルドゥーン」眞壁伍郎『総合看護』44(2)19-32
- 「健康をめぐる歴史パノラマ 中世ヨーロッパの僧院医学」眞壁伍郎『総合看護』44(3)71-82
- 「健康をめぐる歴史パノラマ アウグスティヌス」眞壁伍郎『総合看護』44(4)65-76
- 「「医は意なり」考（抄）」八木聖弥『医譚』(106)160
- 「「医は意なり」の思想系譜」八木聖弥『医譚』(106)22-39
- 「医史学の臨床的意義—人工動態史・自殺史からの考察—」山田和夫『神奈川医学会雑誌』36(2)37-40
- 07 医の倫理**
- 「ホスピスへの遠い道 その歴史と現在・未来 マザー・エイケンヘッドと岡村昭彦 現代社会の矛盾で傷ついた人々との関わり 精神科病棟での岡村昭彦の問いかけ（抄）」栗本藤基『死の臨床』32(2)181-182
- 「日本宗教史と死の臨床」末木文美士『死の臨床』32(1)27-29
- 「ホスピスへの遠い道 その歴史と現在・未来 マザー・エイケンヘッドと岡村昭彦 私の「ホスピスへの遠い道」人権運動としてのホスピスへ（抄）」二ノ坂保喜『死の臨床』32(2)182
- 「ホスピスへの遠い道 その歴史と現在・未来 マザー・エイケンヘッドと岡村昭彦 日本にバイオエシックスを生むためのオーケストラ，指揮者は岡村昭彦 未完の楽譜の前で（抄）」細野容子『死の臨床』32(2)180-181
- 「ホスピスへの遠い道 その歴史と現在・未来 マザー・エイケンヘッドと岡村昭彦 人権としてのホスピス ホスピス運動黎明期の日本と岡村昭彦の使命（抄）」米沢慧『死の臨床』32(2)180
- 08 医療器械**
- 「【和製福祉用具の歴史】自動吸引式集尿器スカットクリーンの開発」石井賢俊『福祉介護機器 Techno プラス』2(1)11-17
- 「【色素内視鏡を見直す 画像強調観察法との比較】色素内視鏡の歴史と分類」井田和徳，加藤隆弘『臨床消化器内科』24(10)1315-1324
- 「人の動きを測る 人の動きを測る歴史 福祉機器を使う人の動きを分析する」江原義弘『福祉介護機器 Techno プラス』2(1)37-38
- 「【和製福祉用具の歴史】入浴用リフトの開発」岡田正『福祉介護機器 Techno プラス』2(4)19-24
- 「【和製福祉用具の歴史】6輪車いす開発の背景と現状」沖川悦三『福祉介護機器 Techno プラス』2(1)7-10
- 「医科器械に対する橋田邦彦の見解（抄）」勝井恵子『日本医史学雑誌』55(2)194
- 「【人工心肺の進歩】人工心肺の歴史と最近の進歩」許俊鋭『Clinical Engineering』20(9)855-859
- 「【顕微鏡の変遷と現況】顕微鏡の発達と歴史」酒井シヅ『医療機器学』79(8)658-661
- 「就床患者に使用する洗髪用具の変遷に関する文献的考察（抄）」佐藤正樹，小坂橋喜久代『日本看護技術学会学術集会講演抄録集8回』135
- 「顕微解剖学の歴史，三浦梅園が愛用した木製顕微鏡（抄）」島田達生『日本医史学雑誌』55(2)175
- 「トレミキシン開発の歴史」谷徹『医療機器学』79(7)432-437
- 「明治初頭日本における医療技術の移入・受容過程—外科器具「イクラセウル」と「燃灼電気器」を中心に—」月澤美代子『日本医史学雑誌』55(3)317-328
- 「明治初頭日本における医療情報の伝達・普及・定着—皮下注射法を中心に—（抄）」月澤美代子『日本医史学雑誌』55(2)172
- 「【和製福祉用具の歴史】電動座席リフト式電動車椅子 自立を助ける電動車椅子を目指して」西平哲也『福祉介護機器 Techno プラス』2(1)1-5
- 「ファイバースコープの開発とその後の発展（抄）」丹羽寛文『Gastroenterological Endoscopy』51(Suppl.1)624
- 「名人がみせる鼠径ヘルニアと癍痕ヘルニア手術

- のすべて 鼠径部ヘルニア手術の歴史を作った5人の外科医とメッシュプラグ法(抄)」蜂須賀丈博『日本外科系連合学会誌』34(4)700
- 「泌尿器科内視鏡の歴史」三木誠, 相沢卓『Japanese Journal of Endourology and ESWL』22(2)127-139
- 09 医療制度史・医療史**
- 「転換する中国の医療保険制度 国費から社会保険へ」石塚秀雄『いのちとくらし研究所報』(28)32-37
- 「日本医療団の成立と解散 その今日的意義」泉孝英『滋賀文化短期大学研究紀要』(18)201-209
- 「日本の社会保障 医療保険の歴史と現況」泉孝英『病院』68(4)342-343
- 「わが国における第二次大戦前のインフルエンザ 超過死亡—スペインかぜ以前と以後—(抄)」逢見憲一『日本医史学雑誌』55(2)168
- 「【医療経済と保険適応】医療費分析の歴史は? 医療費分析の歴史を教えてください」岡山明『Q&A でわかる肥満と糖尿病』8(5)713-714
- 「【病院前救急診療】わが国における病院前救急診療の歴史」小濱啓次『救急医学』33(5)499-502
- 「【医薬品安全温故知新】団体・学会の取り組み プレアボイドの歩み 歴史と今後の展望」笠原英城, 林昌洋他『薬事』51(12)1777-1782
- 「赤十字思想150年」金山知新『STETHOSCOPE』(197)13-19
- 「医療制度 社会医療法人の創設」加納繁照『日本透析医会雑誌』24(2)218-223
- 「【韓国の社会保障 日韓比較の視点から】保健医療政策 過去は乗り越えられたのか?」金蓮花『海外社会保障研究』(167)54-66
- 「中国農業近代史」小坂橋努『Journal of Pesticide Science』34(4)289-294
- 「【薬物・毒物中毒】違法薬物の変遷と現状」小島尚『救急医療ジャーナル』17(5)30-35
- 「【新設学科 栄養学科の教育・研究分野の紹介】管理栄養士とは 歴史・制度・現状」齋藤長徳『青森県立保健大学雑誌』10(2)233-235
- 「明治時代初期の有喜世新聞広告 補遺(抄)」下総高次『日本歯科医史学会々誌』28(2)118-119
- 「【戦後公衆衛生の源流をたどる】国際関係の視点からみた占領期の日本医療保険制度」杉田米行『保健の科学』51(7)441-445
- 「医歯二元性を再考する 医歯二元性の歴史と展望(抄)」瀬戸かん一『日本口腔外科学会雑誌』55(Suppl.)12
- 「【伝染病予防法】の制定とその背景」竹原万雄『東北芸術工科大学東北文化研究センター研究紀要』(8)1-10
- 「戦後占領期における感染症報告の方法(抄)」田中誠二, 杉田聡, 安藤敬子, 丸井英二『日本医史学雑誌』55(2)159
- 「いろいろな臨床試験のケースレポート 温泉のRCTから看護のSRまで ランダム化比較試験とシステムティック・レビューの過去・現在・未来」津谷喜一郎『薬理と治療』37(11)895-904
- 「明治検疫制度と外国」中網栄美子『日本医事新報』(4432)85-86
- 「私が行った医薬分業の学術研究の背景と足跡—医薬分業研究30年の動向—」中村健『薬史学雑誌』44(2)56-63
- 「フィジシャンアシスタント(PA)の歴史, 役割とその活用」ノール玲子『日本外科学会雑誌』110(3)167-171
- 「社会福祉と医療政策 第1次大戦・前後」野村拓『いのちとくらし研究所報』(26)62-66
- 「わが国における精神科ソーシャルワーカーの黎明(その2)(抄)」橋本明『日本医史学雑誌』55(2)163
- 「明治16年(1883)に東京府が行った整骨師, 入歯師等の調査について(抄)」樋口輝雄『日本医史学雑誌』55(2)170
- 「【学校における運動器検診 スポーツ損傷や事故予防のために】学校における健康診断の歴史と, 運動器検診の意義」福田潤『臨床スポーツ医学』26(2)125-132
- 「福岡県宗像地方の「定礼」制度について 国民健康保険の源流」松尾芳樹『保団連』(999)45-48
- 「【戦後公衆衛生の源流をたどる】学校保険確立へ

- の過程」三浦正行『保健の科学』51(7)446-449
- 「医史学の臨床的意義 人口動態史・自殺史からの考察」山田和夫『神奈川医学会雑誌』36(2)143-147
- 「ブラジルにおける日本人医師と日系ブラジル人医師の動向 歴史的考察と現状 (Trends for Japanese and Japanese Brazilian Physicians in the Federative Republic of Brazil: Historical discussion and current situation) (英語)」Yamanaka Ademar『Japan Medical Association Journal』52(1)66-68
- 「糖尿病療養指導士の歴史と展望 糖尿病療養指導士制度の現状と問題点 (病院トップへのアンケート調査から考える)」八幡和明『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』8(4)585-588
- ## 10 衛生・公衆衛生史・予防医学史
- 「次世代へ持続可能な健康科学の確立 100年前から100年後の未来まで (Establishment of sustainable health science for future generations: from a hundred years ago to a hundred years in the future) (英語)」Mori Chisato, Todaka Emiko『Environmental Health and Preventive Medicine』14(1)1-6
- 「わが国の産業保健の歴史と特性」青山英康『健康管理』(658)5-12
- 「アスベスト もう一つの気がかり 免疫系の異常を誘発？」植木絢子『ミクروسコピア』26(3)201-203
- 「【新型インフルエンザ流行対策 国立保健医療科学院の取り組みと今後の活動に向けて】公衆衛生からみたインフルエンザ対策と社会防衛 19世紀末から21世紀初頭にかけてのわが国の経験より」逢見憲一『保健医療科学』58(3)236-247
- 「わが国の結核対策の現状と課題 結核の発生动向調査 これまでとこれから」大森正子『日本公衆衛生雑誌』56(8)530-534
- 「日本における自然免疫の研究 歴史的側面 (The study of innate immunity in Japan: a historical perspective) (英語)」Kaisho Tsuneyasu, Takeda Kiyoshi『International Immunology』21(4)313-316
- 「【戦後公衆衛生の源流をたどる】国民健康・栄養調査の源流を尋ねて」金子俊『保健の科学』51(7)461-467
- 「明治時代から大正時代における社会資本の構築に伴う公衆衛生の向上 浅野總一郎の取り組みを焦点にして」佐々木隆夫『医療福祉研究』(3)44-55
- 「結核実態調査の行われた背景と主な成績」島尾忠男『結核』84(11)713-720
- 「明治中期の肺病死亡統計 (2)」島尾忠男『結核』84(1)23-29
- 「海上医学研究の歴史と展望」庄田昌隆『海上医学研究』45, 2-11
- 「ドラマティックな公衆衛生 先達たちの物語 「公共」の精神による衛生活動 後藤新平」神馬征峰『公衆衛生』73(3)221-223
- 「明治中・後期の『大日本私立衛生会雑誌』にみる公衆衛生と個人の権利 (抄)」菅原京子『日本公衆衛生学会総会抄録集68回』589
- 「【戦後公衆衛生の源流をたどる】保健医療分野におけるGHQ文書研究の概況と今日的意義」杉田聡『保健の科学』51(7)436-440
- 「明治前期衛生行政における地方政策構想の転換—内務省を中心に—」鈴木健太郎『日本歴史』(731)70-87
- 「大気環境問題の変遷「公害」の時代から新しい大気環境の時代へ 私の歩いた公害時代から環境時代への変遷の歴史」鈴木伸『大気環境学会誌』44(6)292-300
- 「明治初期の衛生政策構想—『内務省衛生局雑誌』を中心に—」竹原万雄『日本医史学雑誌』55(4)509-520
- 「【戦後公衆衛生の源流をたどる】戦後占領期の感染症とその対策」田中誠二『保健の科学』51(7)450-455
- 「【戦後公衆衛生の源流をたどる】戦後沖縄における公衆衛生の独自性と特異性 アメリカ統治の視点から」等々力英美『保健の科学』51(7)468-473
- 「職業性石綿曝露集団の死亡リスクに関する歴史的コホート研究 (抄)」富岡公子, 名取雄司, 熊谷信二, 車谷典男『産業衛生学雑誌』51(増)288

- 「明治期の農山漁村における衛生組合の設置目的と役割」中澤恵子『千葉県史研究』(17)
- 「近年の胸膜中皮腫死亡と歴史的石綿使用量および禁止措置導入との関連 国際的評価(抄)」西川晋史, 寶珠山努, 高橋謙『日本公衆衛生学会総会抄録集 68回』300
- 「健康についての医療人類学的一考察 WHOの健康定義から現代日本の健康ブームまで」野村亜由美『保健学研究』21(2)19-27
- 「【旅と健康・病気】「旅と病」で世界史を読む」濱田篤郎『保健の科学』51(12)796-800
- 「【予防接種】予防接種の歴史 人類への貢献」平山宗宏『母子保健情報』(59)1-6
- 「【高齢者が生きる時代 多文化間における老年心性と医療事情を探る】歴史のなかの長寿観 貝原益軒とジョン・スウィフト」松下正明『こころと文化』8(1)11-22
- 「北海道の公衆衛生 60年を振り返って、これからを考える(第2部) 今後の公衆衛生への期待」三宅浩次『北海道公衆衛生学雑誌』22(2)18-26
- 「実践ヘルスプロモーション 地域医療のための公衆衛生 公衆衛生の意義と歴史」柳川洋『地域医学』23(4)266-270
- 「アジア太平洋地域の結核対策と結核医療の史的考察」渡部幹夫『医療看護研究』5(1)1-10
- ## 11 解剖学史
- 「岩国市芦山家に伝わる婦人臓腑について II(抄)」片岡勝子『日本医史学雑誌』55(2)174
- 「解剖学書における解剖図の類型と歴史の変遷(抄)」坂井建雄『日本医史学雑誌』55(2)171
- 「解剖学を築いた人々 ガレノスとヴェサリウスの解剖学, その歴史的背景(抄)」坂井建雄『解剖学雑誌』84(Suppl.)125
- 「解剖学を築いた人々 円環の始まり ウィリアム・ハーヴィーにおける比較生物学的研究とその方法論的基礎(抄)」澤井直『解剖学雑誌』84(Suppl.)125
- 「神経の歴史散策 その十七 蘭学の時代 遠西医範と宇田川玄真」高垣玄吉郎『ミクروسコピア』26(1)49-54
- 「神経の歴史散策 その十八 イギリス生理学の発展 ウィリアム・シャーピィとミカエル・フォスター」高垣玄吉郎『ミクロスコピア』26(2)141-146
- 「神経の歴史散策 その十九 伝達物質の開口放出 バーナード・カッツの生涯と業績」高垣玄吉郎『ミクロスコピア』26(3)231-236
- 「神経の歴史散策 その二十 カミロ・ゴルジの網状説 なぜ、ニューロン説に反対であったか」高垣玄吉郎『ミクロスコピア』26(4)317-322
- 「大阪府堺市から出土した近世人頭蓋の計測的特徴」長岡朋人, 嶋谷和彦, 阿部みき子他『Anthropological Science』117(2)89-97
- 「池之端七軒町遺跡(旧慶安寺跡)から出土した江戸時代人女性の顎顔面形態解析(抄)」林一夫, 齋藤貞政, 上地潤他『日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 68回』127
- 「『全体新論』に掲載される解剖図の出典について」松本秀士, 坂井建雄『日本医史学雑誌』55(4)463-497
- ## 12 眼科史
- 「原田病(Vogt-小柳-原田病)(8,11)」飯島裕幸『眼科』51(8,12)947-948, 1587-1588
- 「原田病(Vogt-小柳-原田病)(12)」後藤浩『眼科』51(13)1697-1698
- 「谷川流眼科と『大阪医師番付集成』の編纂経緯 古西義磨『医譚』(107)78-79
- 「原田病(Vogt-小柳-原田病)(1,7)」澤充『眼科』51(1,7)1-2, 829-830
- 「原田病(Vogt-小柳-原田病)(4)」菅谷哲史, 澤充『眼科』51(4)357-358
- 「谷川流眼科の系譜」杉浦守邦『医譚』(106)50-66
- 「上田秋成から神医と称えられた播磨の眼科医・谷川家(抄)」杉浦守邦『医譚』(106)158-159
- 「1960年代の日本における人工水晶体の開発経過について(抄)」園田真也『日本医史学雑誌』55(2)169
- 「日本における人工水晶体の開発経過について」

- 園田真也『医譚』(106) 167
- 「免疫抑制剤（シクロスポリン・タクロリムス）の眼科治療 今と昔 免疫抑制剤（カルシニューリン阻害薬）の歴史・作用機序・副作用」南場研一，石田晋，大野重昭『日本の眼科』80(9) 1143-1147
- 「Hirschberg test とその歴史的考察」松井康樹『日本視能訓練士協会誌』38, 203-209
- 「原田病（Vogt-小柳-原田病）(5)」三村治『眼科』51(5) 575-576
- 「原田病（Vogt-小柳-原田病）(2-3)」山口由美子『眼科』51(2-3) 103-104, 215-216
- 「ポンペの眼科とボードウインの眼科（抄）」山之内卯一『日本医史学雑誌』55(2) 206
- 「原田病（Vogt-小柳-原田病）(6)」山本素士『眼科』51(6) 707-708
- 「原田病（Vogt-小柳-原田病）(10)」山本素士，田中孟，西嶋一晃『眼科』51(11) 1457-1458
- 「原田病（Vogt-小柳-原田病）(9)」山本素士，西山真世，西嶋一晃『眼科』51(9) 1069-1070
- 13 看護史**
- 「歴史研究と看護実践 歴史の記憶と看護専門職にとっての重要性（抄）」Nelson Sioban『日本看護研究学会雑誌』32(3) 74-75
- 「Cookery, Diet and District Nursing in Late Nineteenth-Century London」AKIYAMA, Yuriko『日本医史学雑誌』55(1) 3-13
- 「医の心，看護の心」井口潔『日本看護歴史学会誌』(22) 7-14
- 「米国看護麻酔士（Certified Registered Nurse Anesthetist: CRNA）の歴史と社会的貢献にみる日本の看護業務拡大とチーム医療実現に関する可能性の考察」岩田恵理子『日本外科学会雑誌』110(5) 292-303
- 「地域の歴史と文化と看護に関する調査研究 方言との関連（抄）」宇座美代子，小笹美子，當山裕子他『日本公衆衛生学会総会抄録集 68回』285
- 「ナイチンゲール看護論の継承と発展 ヘンダーソンから M. ニューマンまで」薄井坦子『日本看護歴史学会誌』(22) 23-35
- 「プランゲ文庫史料による占領下日本における医療・看護の社会的活動の分析（1）（抄）」大石杉乃『日本医史学雑誌』55(2) 202
- 「明治元年の産婆取り締まりの意図（前編）（後編）」大林道子『助産雑誌』63(3-4) 234-237, 306-311
- 「大日本看護婦協会と R・B・トイスラーとの接点（抄）」上坂良子，山崎律子『医譚』(106) 167-168
- 「1890（明治23）年トルコ軍艦エルトゥールル号海難事件における日本赤十字社の災害救護活動」川原由佳里『日本看護歴史学会誌』(22) 44-57
- 「看護における「癒し」の概念 その歴史的変遷と今日的課題」川原由佳里『日本統合医療学会誌』2(2) 93-99
- 「井口乗海と大日本看護婦協会—東京看護婦学校における看護婦養成について—」上坂良子『医学史研究』(92) 21-28
- 「山本良吉著『看護婦の心得』にみる看護倫理観と明治後期の看護界の状況（抄）」上坂良子，水田真由美『日本医史学雑誌』55(2) 201
- 「明治期における群馬県の産婆養成のはじまり 津久井磯の個人史から」佐々木かほる『群馬県立県民健康科学大学紀要』4, 1-11
- 「【戦後公衆衛生の源流をたどる】看護改革の周辺」佐藤公美子『保健の科学』51(7) 456-460
- 「新体系の看護理論 看護学矛盾論の歴史 矛盾論の誕生から看護学における再措定，検証，確立へ（抄）」三瓶眞貴子『看護学矛盾論研究会学術集会研究発表資料集』1, 4-10
- 「文献や写真にみる日米欧のトラウベを介在とした助産年表の歴史的意義（抄）」下津郁代，内藤直子『香川母性衛生学会誌』9(2) 24
- 「産婆・助産婦による大正・昭和期の出産のありよう 大阪市の一助産院の助産録をもとに（抄）」菅沼ひろ子，日隈ふみ子，大石時子，松岡悦子『日本助産学会誌』22(3) 356
- 「『三角繃帯用法』と『三角繃帯図附』に学ぶ三角包帯法の始まり」鈴木紀子『看護教育』50(2)

144-146

「明治期の新聞記事に見る看護 日清戦争前後の京都の看護を中心に(抄) 滝下幸栄, 岩脇陽子, 松岡知子『日本看護研究学会雑誌』32(3) 409

「『大正新脩大藏経』の仏教教典にみる「看護」の文字の使用—中華電子仏典協会の電子テキストから—(抄) 平尾真智子『日本医史学雑誌』55(2) 203

「看護歴史研究の今後の課題 看護歴史文献収集から」平尾真智子『日本看護歴史学会誌』(22) 40-43

「歴史の証人 実践看護管理60年」前田マスコ『日本看護歴史学会誌』(22) 15-22

「近・現代日本看護史の思想的基盤とその変遷を明らかにする研究 旧日本赤十字社救護看護婦等への書状贈呈事業の歴史的背景と意味(抄)」松澤和正, 吉田敏浩『国際医療福祉大学紀要』13(2) 30-31

「歴史にみる看護のethos」丸山マサ美『日本看護歴史学会誌』(22) 1-6

「聖母看護教育60年 その軌跡と希望」水島洋子『聖母大学紀要』(5) 1-6

「誕生を支えるプロの技 産婆のこころと助産婦としての歩み」毛利種子『聖路加看護学会誌』13(3) 33-37

「近江婦人慈善会蒲生支会の看病婦養成(三)」八木聖弥『啓迪』(27) 34-57

「【医療におけるセクシュアリティの問題】男性看護師の歴史の変遷 セクシュアリティの問題に焦点をあてて」山崎裕二『Nurse eye』22(3) 6-17

「【拡大する看護の役割 専門性はどのように活かされるのか】CNSの役割についての考察 アメリカにおけるその歴史と現状」山下美根子『インターナショナルナーシングレビュー』32(2) 50-53

「看護歴史研究の今後の課題 本会編集委員を担当して」依田和美『日本看護歴史学会誌』(22) 36-40

14 寄生虫学史

「Infections with Gastrointestinal Parasitic Helminths Indigenous to Japan and their Treatment Historically Studied in an Attempt to Control the Diseases in Countries Where They are Still Rampant: (1) The Jomon to Edo Periods」Jun Maki, Hiroshi Sakagami, Masahiro Kuwada, Armando Caceres, Hiroshi Sekiya, Eiji Tamai『薬史学雑誌』44(1) 18-23

「日本における寄生虫感染の治療と対策に関する史的研究(抄)」牧純, 西岡麗奈, 関谷洋志他『日本薬学会年会要旨集』(4) 338

15 教室・大学史

「金沢医学校の甲種昇格前後における医学士の動静」赤祖父一知『医譚』(106) 164-165

「札幌医科大学の高気圧酸素療法の歴史を振り返る」浅井康文, 岡本博之, 奈良理, 森和久, 成松英智他5名『日本臨床高気圧酸素・潜水医学会雑誌』6(1) 31-35

「姫路赤十字看護専門学校100年史(抄)」樺山たみ子『姫路赤十字病院誌』33, 143

「慶應義塾大学「薬化学研究所」創設から廃止までの60年(補遺)」柴田徹一『慶應医学』85(2) 111-125

「医史資料 名古屋大学医学部の歴史」高橋昭『現代医学』56(3) 577-584

「東洋学園における年史編纂の経緯と現状について(抄)」永藤欣久『日本歯科医史学会々誌』28(2) 102-103

「東洋女子歯科医学専門学校から東洋女子短期大学への転換期—1945~1960—(抄)」永藤欣久『日本歯科医史学会々誌』28(2) 104

「慶應義塾医学所と大学医学部の創設 自然科学教育の重視」安田健次郎『慶應医学』85(2) 79-109

16 軍陣医学史

「「陸軍軍医学校防疫研究報告」Ⅱ部(その三)—鼠と蚤とベスト菌の関連論文の分析—(抄)」蒔昭三『日本医史学雑誌』55(2) 158

「『陸軍軍医学校防疫研究報告Ⅱ部』の分析(その

- 三) 研究報告中の「ペスト」関連研究論文について」 蒔昭三『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』10(1) 26-33
- 『日本関東憲兵隊報告集』の資料紹介とその分析（その3）一戸富士雄『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』10(1) 34-42
- 「日本関東軍軍医たちが見詰めたノモンハン戦場の惨状と戦傷兵の後遺症」一戸富士雄『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』10(1) 49-51
- 「軍医早尾庸雄の戦場報告」岡田靖雄『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』9(2) 1-6
- 「第2次大戦と東京大学医学部卒業生をめぐって 関連書籍の解説」加我君孝『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』10(1) 21-25
- 「京大病理学教室史における731部隊の背景」杉山武敏『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』10(1) 1-10
- 「陸軍衛生隊編制に向けた“担架卒”の成立過程（抄）」鈴木紀子『日本医史学雑誌』55(2) 198
- 「北清事変期の広島陸軍予備病院における外国人傷病者の医療と看護（抄）」隅田寛，岡本裕子，坂村八恵，千田武志『日本医史学雑誌』55(2) 200
- 「北清事変期の医療と看護—広島陸軍予備病院を例として—（抄）」千田武志，坂村八恵，岡本裕子，隅田寛『日本医史学雑誌』55(2) 199
- 「徴兵制と障害者」藤井渉『医学史研究』(92) 1-15
- 「ナチ時代の医師の犯罪と医師たちの戦後」山本啓一『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』10(1) 11-20
- 17 形成外科学史**
- 「スレッドリフトの日本の歴史とシルエット シューチャー法について（抄）」渡部純至『日本美容外科学会会報』31(1) 53
- 18 外科史**
- 「20世紀における食道外科の歴史（A history of esophageal surgery in the twentieth century）（英語）」Kakegawa Teruo, Fujita Hiromasa『General Thoracic and Cardiovascular Surgery』57(2) 55-63
- 「韓国における鼠径ヘルニア治療の歴史と最近の傾向（History and Current Trend of Inguinal Hernia Treatment in Korea）（英語）（抄）」Choi Youn-Baik『日本外科系連合学会誌』34(4) 681-683
- 「日本及び世界における胸腔鏡外科の歴史（History of thoracoscopic surgery in Japan and the world）（英語）」Wakabayashi Akio『General Thoracic and Cardiovascular Surgery』57(2) 64-70
- 「胃癌診療の歴史（第5回）ビルロートの胃癌切除術〔1〕手術成功と再発の狭間で」岡島邦雄『胃がん perspective』2(4) 287-294
- 「【成人ヘルニア 外科的治療の Up to date】鼠径ヘルニアに対する外科的治療の変遷」沖永功太『外科治療』100(5) 637-644
- 「わが国の膵臓移植 その歴史と現状」金澤康徳，石橋道男『Diabetes Frontier』20(6) 47-654
- 「腹腔鏡下胆嚢摘出術20年の歴史（抄）」北濱昭夫『日本内視鏡外科学会雑誌』14(7) 185
- 「Jerome A. Urban (1914-1991) と super-radical mastectomy」酒井シヅ『Mamma』(62) 表2
- 「乳癌手術の最初の論文」酒井シヅ『Mamma』(61) 表2
- 「乳腺外科手術の進歩」杉山和義『順天堂医学』55(3) 321-325
- 「脳神経外科治療の変遷と未来」清木義勝『東邦医学会雑誌』56(4) 271-274
- 「乳癌診療における外科医の変貌」高塚雄一『乳癌の臨床』24(5) 607-615
- 「甲状腺外科 歴史と現状」高見博『慶應医学』85(2) 143-148
- 「日本の外傷外科の夜明け 日本の頭部外傷外科の夜明け」中村紀夫『日本外傷学会雑誌』23(4) 357-369
- 「【最新乳房腫瘍の手技・手術のすべて】切除 胸筋温存乳房切除術」丹黒章，長尾妙子，吉良美砂子他『手術』63(10) 1431-1437
- 「わが国における心臓大血管外科発展の歴史と顕彰」古瀬彰『日本心臓血管外科学会雑誌』38(1) 86-89
- 「わが国における血管外科」安田慶秀『日本心臓血管外科学会雑誌』38(2) 165-167
- 「【マスターしておきたい標準的内視鏡外科手術】

内視鏡外科手術の歴史」山川達郎『外科治療』100(増刊)429-433

「脳神経外科手術手技に関する私見とその歴史的背景 髄膜腫」米川泰弘『Neurological Surgery』37(1)71-90

19 細菌学史

「細菌発見史 その四 コレラ菌」天児和暢『ミクروسコピア』26(1)37-41

「細菌発見史 その五 破傷風菌と抗毒素」天児和暢『ミクロスコピア』26(2)123-125

「ウイルス発見小史 パピローマウイルス」江川清文『Virus Report』6(1)122-129

「ウイルス発見小史」大石和徳『Virus Report』6(2)144-149

「ロンドン外科学史瞥見 補遺 ペニシリンとピロリ菌にまつわる serendipity」佐藤裕『臨床外科』64(9)1249-1253

「ウイルス発見小史 B型肝炎ウイルス」杉山真也『Virus Report』6(2)136-143

「日本では何故ピロリ菌を発見できなかったか」多賀須幸男『ミクロスコピア』26(3)178-179

20 産婦人科史

「助産婦の歴史 現代の助産婦(その8-18)」石原力『ペリネイタルケア』28(1-12)104-105, 208-209, 313-314, 422-423, 514-515, 640-641, 758-760, 854-855, 946-947, 1036-1037, 1128-1129, 1216-1217

「近世大坂における回生術と産科学」内野花『日本医史学雑誌』55(1)31-42

「古代日本の出産における白色(抄)」内野花『日本医史学雑誌』55(2)189

「台湾における近代医学に影響を与えた日本人一産婦人科の場合一」王敏東『日本医史学雑誌』55(4)521-528

「女性の性反応と性機能障害 研究の歴史と現在」大川玲子『日本性科学会雑誌』27(1)13-23

「【生殖医療のトピックス】胚培養技術の進歩」沖津攝『臨床婦人科産科』63(11)1394-1401

「【生殖医療のトピックス】代理懐胎 海外の現

状」久具宏司『臨床婦人科産科』63(11)1422-1431

「妊産婦死亡と産婦人科医の今昔」品川信良『セミナー医療と社会』(34)55-60

「【性器脱診療の最前線】性器脱手術の歴史的経緯」永田一郎『臨床婦人科産科』63(5)699-710

「広汎子宮全摘術 その100年間の変遷(抄)」藤井信吾『日本産科婦人科学会熊本地方部会雑誌』(53)99-100

「日本の乳頭亀裂への対処方法の歴史」八木友美, 立岡弓子, 山下恵『日本母乳哺育学会雑誌』3(1)54-64

「乳房うっ積のケアの歴史とその意味」山下恵, 立岡弓子, 八木友美『日本母乳哺育学会雑誌』3(1)47-53

21 歯学史

「機能的装置 その歴史と進化(前)(後)」Deregibus Andrea『矯正臨床ジャーナル』25(2-3)83-98, 83-105

「中国における口腔病理学の小史(A brief history of oral pathology in China)(英語)」Qiguang Wu『Oral Medicine & Pathology』13(4)159-161

「歯科医師とはなにか 歯科医師のための歯科医師の歴史 日本の歯科医師の歴史」飯塚哲夫『近代口腔科学研究会雑誌』35(1)2-21

「レイモンド・チャンドラーにおける歯科的記述についての一考察—1900年代の米国歯科事情—」小野崎純『日本歯科医史学会々誌』28(1)21-29

「喜多見行正著「歯科医業と法律全」(大正8年3月)について」加來洋子, 卯田昭夫, 石橋肇, 山口秀紀, 渋谷鋺, 谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』28(1)34-43

「歯科治療の温故知新 歯科医師が板金加工業者だった時代」笠原浩『DENTAL DIAMOND』34(1)146-147

「歯科治療の温故知新 人力で歯を削っていた時代」笠原浩『DENTAL DIAMOND』34(4)138-139

「歯科治療の温故知新 猛毒薬で「神経」を殺し

- ていた」笠原浩『DENTAL DIAMOND』34 (5) 138-139
- 「歯科治療の温故知新 歯髄失活法の功罪」笠原浩『DENTAL DIAMOND』34 (7) 132-133
- 「歯科治療の温故知新 痛い注射と「デンタル・ショック」」笠原浩『DENTAL DIAMOND』34 (8) 124-125
- 「歯科治療の温故知新 アマルガムと「鼻くそ充填」」笠原浩『DENTAL DIAMOND』34 (9) 122-123
- 「歯科治療の温故知新 義歯床と人工歯の変遷」笠原浩『DENTAL DIAMOND』34 (11) 112-113
- 「歯科治療の温故知新 歯科医師と全身麻酔」笠原浩『DENTAL DIAMOND』34 (12) 128-129
- 「歯科治療の温故知新 歯科医師は「格下の医者」だった？」笠原浩『DENTAL DIAMOND』34 (13) 122-123
- 「歯科治療の温故知新『むし歯の洪水』と小児歯科」笠原浩『DENTAL DIAMOND』34 (15) 124-125
- 「歯科治療の温故知新 歯科医専卒業だけで歯科医師になれた」笠原浩『DENTAL DIAMOND』34 (16) 114-115
- 「臨時体制と歯科報国団一特に日本大学専門部歯科を中心に」(抄) 工藤逸郎，三宅正彦，見崎徹，小室歳信，金山利吉他7名『日本歯科医史学会々誌』28 (2) 100-101
- 「九州歯科看護婦養成所は実在した」(抄) 小林繁，上瀉口武『日本歯科医史学会々誌』28 (2) 105-106
- 「【口腔インプラントと骨】インプラントの歴史」小宮山彌太郎『THE BONE』23 (3) 267-270
- 「歯科医学教育関係略年表（敗戦後）日本歯科医史学会第345回例会より」榎原悠紀田郎『日本歯科医史学会々誌』28 (1) 3-20
- 「文献と臨床の橋わたし 抜歯術の今昔（その1）-（その3）」坂下英明『日本歯科評論』69 (4-6) 155-157, 156-158, 149-151
- 「歯科医学史の講義はいかに行われているか」(抄) 渋谷鉦，牧村正治，山口秀紀，谷津三雄，工藤逸郎他2名『日本歯科医史学会々誌』28 (2) 139-140
- 「歯痛と絵馬」(抄) 新藤恵久『日本歯科医史学会々誌』28 (2) 128
- 「歯科医療の特異性（医歯一・二元論）の歴史と現在「口腔医学」の創設・育成プロジェクトによせて」(抄) 杉本是孝『日本歯科医史学会々誌』28 (2) 138
- 「古人骨に見る歯牙・歯列・咬合について（佐賀藩神代家墓所出土の古人骨調査）」(抄) 隅康二，川久保善智，埴原恒彦『九州矯正歯科学会雑誌』5 (1) 75
- 「【フロアブルコンポジットレジン】フロアブルコンポジットレジンの誕生から現状」田上順次『DE』(169) 1-4
- 「齶蝕図像はどう描かれてきたか」(抄) 竹原直道『日本歯科医史学会々誌』28 (2) 132
- 「京都府香具師名簿（昭和3年）に残る最後の入歯師」(抄) 竹原直道『日本歯科医史学会々誌』28 (2) 114-115
- 「患者と時代のニーズに応える金属床義歯の技工・臨床 和田精密歯研における金属床技術50年の歴史といま」多田郁，堤嵩詞，万藤和仁，永島宏『歯科技工』37 (5) 602-616
- 「昭和23年歯科医師国家試験問題に関して」(抄) 田中ひとみ，田中晃伸『日本歯科医史学会々誌』28 (2) 112
- 「フランキンセンス（乳香）の歴史」千葉栄一・新谷明喜『日本歯科医史学会々誌』28 (2) 141-145
- 「梶原性全の偉業「頓医抄」と「万安方」に於ける口腔疾患について」戸出一郎，三浦一恵，深山治久『日本歯科医史学会々誌』28 (2) 153-166
- 「教科書に見る1800年代の咬合器」(抄) 永田和弘『日本歯科医史学会々誌』28 (2) 123
- 「歯科医療行為を行う職種の多様性の意味の考察」(抄) 西巻明彦，屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』28 (2) 137
- 「占領期日本における歯科医学教育の改革（第2報：歯科専門教育の標準的カリキュラムの策定について）」(抄) 樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』28 (2) 136
- 「American Text Book of Prosthetic Dentistryの概要

- (抄) 平田幹男『日本歯科医史学会々誌』28(2) 120-121
- 「幕末、明治期の英字新聞とDirectoryからみた外国人歯科医師の日本における動向について(3) B. Alexandre, W. St. G. Elliott, H. M. Perkins, T. W. Gulick, その他」松本康博『日本歯科医史学会々誌』28(2) 146-152
- 「厚生省歯科衛生課創立60周年を振り返る・歯科行政官の系譜」宮武光吉『日本歯科医史学会々誌』28(2) 90-97
- 「歯科技工 温故知新 技工道具の足跡から、先人の英知を学ぶ 第1回 歯科技工師のはじまり」本平孝志, 小田中康裕『歯科技工』37(1) 146-151
- 「歯科技工 温故知新 技工道具の足跡から、先人の英知を学ぶ 第2回 歯科器械の始祖」本平孝志, 小田中康裕『歯科技工』37(2) 280-283
- 「歯科技工 温故知新 技工道具の足跡から、先人の英知を学ぶ 第3回 蒸和釜」本平孝志, 小田中康裕『歯科技工』37(3) 424-427
- 「歯科技工 温故知新 技工道具の足跡から、先人の英知を学ぶ 第4回 エンジン」本平孝志, 小田中康裕『歯科技工』37(4) 536-539
- 「歯科技工 温故知新 技工道具の足跡から、先人の英知を学ぶ 第5回 レーズとロール」本平孝志, 小田中康裕『歯科技工』37(5) 662-665
- 「歯科技工 温故知新 技工道具の足跡から、先人の英知を学ぶ 第6回 木冠と金冠」本平孝志, 小田中康裕『歯科技工』37(6) 790-793
- 「歯科技工 温故知新 技工道具の足跡から、先人の英知を学ぶ 第7回 金冠製作のための小物類」本平孝志, 小田中康裕『歯科技工』37(7) 936-939
- 「歯科技工 温故知新 技工道具の足跡から、先人の英知を学ぶ 第8回 帯環金冠の製作法」本平孝志, 小田中康裕『歯科技工』37(8) 1084-1087
- 「歯科技工 温故知新 技工道具の足跡から、先人の英知を学ぶ 第9回 無縫金冠の製作法」本平孝志, 小田中康裕『歯科技工』37(9) 1222-1225
- 「歯科技工 温故知新 技工道具の足跡から、先人の英知を学ぶ 第10回 鋳造法に用いる機材類」本平孝志, 小田中康裕『歯科技工』37(10) 1358-1361
- 「歯科技工 温故知新 技工道具の足跡から、先人の英知を学ぶ 第11回 陶材と陶歯」本平孝志, 小田中康裕『歯科技工』37(11) 1474-1477
- 「歯科技工 温故知新 技工道具の足跡から、先人の英知を学ぶ 第12回 陶材とポーセレンファーネス」本平孝志, 小田中康裕『歯科技工』37(12) 1598-1601
- 「歴史を楽しむ 近代医療を支えるものは何か 口腔・顔面インプラントの成功の歴史的背景」森昌彦『歯科医療』23(2) 99-118
- 「歴史を楽しむ 近代医療を支えるものは何か 歯・口腔・顔面の先天異常」森昌彦『歯科医療』23(3) 111-127
- 「国際歯科学士会共同創設者ルーイス・オトフィーおよび奥村鶴吉に関する研究(その1)(抄)」森山徳長『日本歯科医史学会々誌』28(2) 126
- 「日本歯科医師会発行「口腔衛生読本 第2集」について(抄)」山口秀紀, 落合俊輔, 渋谷鉦, 加來洋子, 谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』28(2) 116-117
- 「接着性コンポジットレジン修復, ボンディングシステム半世紀の変遷」山本一世『大阪府歯科医師会雑誌』(701) 10-23
- 「歯科衛生士教育の60年 看護師教育との比較」吉田秀夫『四国歯学会雑誌』21(2) 297-301
- 「インプラント50年の変遷」和田弘毅, 山口敦『日本歯科産業学会誌』23(1) 3-10

22 史跡・記念碑

- 「千住の鷗外碑」建立される(抄) 木村繁『日本医史学雑誌』55(2) 152
- 「高峰讓吉, 野口英世が眠るウッドローン墓地」末廣雅也『葉史レター』(53) 5-8
- 「醫師神社に関する考察」高山真一郎『医譚』(107) 74-77
- 「北海道大学医学部旧本館のモデルとレリーフに

- ついで（抄）寺沢浩一，池上重康，藤垣エミリア『葉史学雑誌』44(2)84
- 「帆船萬里の顕彰記念会について（抄）寺畑喜朔『日本医史学雑誌』55(2)145
- 『善那余話』からみた東京国立博物館ジェンナー像建立の経緯」深瀬泰旦『日本医史学雑誌』55(3)291-301
- ### 23 疾病史
- 「在郷軍人病，認識後30年の現状報告 レジオネラ感染症，歴史と臨床所見 (Legionnaires' Disease, A Status Report 30 Years After Its Recognition: Legionnaires' Disease: its History and Clinical Findings) (英語) (抄)」Edelstein Paul『日本化学療法学会雑誌』57(Suppl.)88
- 「自閉症概念の歴史の変遷（抄）」石坂好樹『日本児童青年精神医学会総会抄録集50回』92
- 「病因と診断 ランゲルハンス島“A”細胞 忘れられかけた血糖コントロールのもうひとつの担い手」石原寿光『プラクティス』26(4)349-351
- 「Devic病の考え方の変遷」糸山泰人『Frontiers in Rheumatology & Clinical Immunology』3(2)110-111
- 「【新型（豚）インフルエンザ渦からの教訓】インフルエンザの歴史における新型（豚）インフルエンザの位置付け」大槻公一『化学療法の領域』25(10)2054-2059
- 「【骨髄性白血病 病因・治療研究の進歩】骨髄性白血病臨床研究の歴史・現況・今後の展望」小澤敬也『日本臨床』67(10)1841-1846
- 「【メニエール病を理解する】メニエール病の歴史 臨床所見，内耳病態整理の解明，そして治療」加我君孝『JOHNS』25(6)793-800
- 「メニエール病の歴史 臨床所見から内耳の病態生理の解明（抄）」加我君孝『日本耳鼻咽喉科学会会報』112(4)270
- 「中毒性神経疾患 特にSMONの歴史と現在（抄）」片桐忠『臨床神経学』49(6)377
- 「骨肉腫治療の過去・現在・未来 骨肉腫はどのような病気だったか 骨肉腫の治療前史（抄）」川井章『日本整形外科学会雑誌』83(3)S623
- 「【膠原病 病態解明・新規治療の光明】膠原病研究の歴史・現況・今後の展望」川畑仁人『日本臨床』67(3)445-457
- 「プリオン病の最新トピックス プリオン病研究の50年」北本哲之『臨床神経学』49(11)936-938
- 「糖尿病の歴史 2型糖尿病 インスリン分泌低下かインスリン抵抗性か(1)-(2)」葛谷健『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』8(1-2)113-118, 275-280
- 「糖尿病の歴史 糖尿病と妊娠 インスリン発見前後の状況」葛谷健『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』8(3)443-446
- 「糖尿病の歴史 Priscilla Whiteと糖尿病患者の妊娠の分類」葛谷健『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』8(4)594-597
- 「糖尿病の歴史 妊娠糖尿病 Gestational diabetesの概念の変遷」葛谷健『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』8(5)749-753
- 「糖尿病の歴史 糖尿病神経障害 19世紀末にはどの程度わかっていたか」葛谷健『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』8(6)908-910
- 「わが病院における治療実践 下司病院と断酒会の連携 断酒会と下司病院の50年の歴史を踏まえて」下司孝之『日本アルコール関連問題雑誌』11, 32-38
- 「スモン 薬害の原点」小長谷正明『医療』63(4)227-234
- 「医学・医療史から見た新型インフルエンザ」酒井シヅ『健康保険』63(9)32-33
- 「新型インフルエンザの脅威 インフルエンザの歴史」酒井シヅ『海員』61(12)37-40
- 「【わが国の糖尿病の現況と変遷(1989-2009)】運動療法」佐藤裕造『Diabetes Frontier』20(4)470-475
- 「高安病発見から1世紀 (Takayasu Disease on the Centenary of Its Discovery) (英語)」Sugiyama Kazuhisa, Ijiri Shigeyuki, Tagawa Shigeki『Japanese Journal of Ophthalmology』53(2)81-91
- 「日本人研究者によるアレルギー研究 歴史的展

- 望 (The study of allergy by Japanese researchers: a historical perspective) (英語) TAKAI Toshiyuki, KARASUYAMA Hajime 『International Immunology』 21 (12) 1311-1316
- 「ドイツ語圏の偏頭痛研究史 交感神経血管説」田村直俊, 荒木信夫, 山元敏正他 『自律神経』 46 (6) 544-550
- 「ドイツ語圏の偏頭痛研究史 てんかん, アレルギ, 体位生頻脈症候群との共存」田村直俊, 荒木信夫, 山元敏正他 『自律神経』 46 (6) 551-557
- 「人・土地・業績 Pasteur Vallery-Radot (1886-1970) とフランス語圏の偏頭痛研究 経歴と業績」田村直俊, 荒木信夫, 山元敏正他 『神経内科』 71 (4) 424-429
- 「日本における鳥インフルエンザの歴史」塚本健司 『日本獣医史学雑誌』 (46) 11-19
- 「【わが国の糖尿病の現況と変遷 (1989-2009)】 食事療法」津田謹輔 『Diabetes Frontier』 20 (4) 465-469
- 「【高血圧が脳卒中の最大危険因子】の認識 (抄)」西村謙一 『日本医史学雑誌』 55 (2) 167
- 「東京市養育院「回春病室」設置時期の再検討—「1899年」説は正しいか?—」平井雄一郎 『日本医史学雑誌』 55 (4) 427-443
- 「光田健輔と「回春病室」という記憶—設置時期はなぜ明言されえなかったのか?—」平井雄一郎 『日本医史学雑誌』 55 (4) 445-461
- 「鉛中毒の歴史に関する研究「児科雑誌」における仮称所謂脳膜炎 (鉛毒性脳症) に関する研究の足跡 (1927-1930) (抄)」堀口俊一, 寺本敬子, 西尾久英, 林千代 『産業衛生学雑誌』 51 (臨増) 430
- 「【インフルエンザ 2009年パンデミックの理解とその後への応用】 ウイルスの分子進化と疫学 H5N1 亜型の高病原性鳥インフルエンザウイルス 流行の歴史と現状」牧野晶子, 新矢恭子, 河岡義裕 『治療学』 43 (11) 1189-1192
- 「性感染症の歴史を考える」松田静治 『順天堂医学』 55 (1) 76-77
- 「【インフルエンザとは何か】 インフルエンザの歴史と現実」松本慶蔵 『Biophilia』 5 (4) 7-13
- 「糖尿病の合併症を国際的に比較する WHOの先駆的研究に参加して」三木英司 『ミクロスコピア』 26 (3) 206-210
- 「【パーキンソン病 基礎・臨床研究のアップデート】 パーキンソン病の歴史的な流れ」水澤英洋 『日本臨床』 67 (増刊号4 パーキンソン病) 7-11

24 耳鼻咽喉科史

- 「ギリシャにおける副鼻腔炎症性疾患に対する局所療法とネブライザー療法の歴史 ヒポクラテスの時代から現代まで (The history of topical and nebulizer therapy for sinonasal inflammatory diseases in Greece: From Hippocrates up to now) (英語) (抄)」Prokopakis Emmanuel 『耳鼻咽喉科展望』 52 (補1) 41-42
- 「日本における小児耳鼻咽喉科学発展の歴史と今後の展望」川城信子 『小児耳鼻咽喉科』 30 (3) 187-191
- 「日本における小児耳鼻咽喉科学発展の歴史と今後の展望 (抄)」川城信子 『小児耳鼻咽喉科』 30 (2) 87

25 種痘史

- 「全国へ広がった佐賀の種痘 (抄)」青木歳幸 『日本医史学雑誌』 55 (2) 142
- 「感染症医史 種痘 (天然痘予防) の黎明」木村丹 『感染と抗菌薬』 12 (2) 178-181
- 「佐倉藩の種痘の事跡 (抄)」酒井シヅ 『日本医史学雑誌』 55 (2) 146
- 「『断毒論』と種痘 (抄)」西巻明彦 『日本歯科医史学会々誌』 28 (2) 124-125
- 「杏雨書屋第22回研究会講演録「杏雨書屋の洋書」エドワード・ジェンナーと牛痘種痘法—牛痘種痘法の情報, 書籍, 牛痘苗の将来と医師習得者の帰国—」松木明知 『杏雨』 (12) 210-234

26 獣医学史

- 「【今も活着しているプロダクションメディスン】 米国におけるプロダクションメディスンの過去, 現在, 未来」Whitmore Howard L. 『獣医畜産新

- 報』62(11)887-890
- 「昭和29年に上野動物園で発生したラマ狂犬病について」白澤基紀『医譚』(106)6-13
- 「家畜医範書き込み薬物処方からみる薬物処方に関する考察(抄)」島和嗣，久保光平，島山貴博他『日本薬学会年会要旨集』(4)337
- 「オランダ大使ヴァン・グーリック博士と解馬新書(抄)」松尾信一『日本医史学雑誌』55(2)195
- 「わが国獣医臨床におけるレーザー応用の歴史と人への応用」渡邊正俊『日本獣医史学雑誌』(46)20-30
- ## 27 書簡
- 「池田文書の研究(36) 武家華族の書簡(その1)」池田文書研究会『日本医史学雑誌』55(3)377-386
- 「杏雨書屋所蔵書簡集(七) 佐伯理一郎来簡集等・小関三英書簡集」多治比郁夫『杏雨』(12)235-359
- 「ブランデンシュタイン家所蔵，1827年，1828年，1829年シーボルト書簡の翻刻並びに翻訳」宮坂正英，ベルント・ノイマン，石川光庸『鳴滝紀要』(19)15-54
- ## 28 書誌学
- 「『医学天正記』異本類の比較研究(抄)」天野陽介，小曾戸洋『日本医史学雑誌』55(2)179
- 「江陵張家山漢簡『引書』譯註と研究(一)」猪飼祥夫『医譚』(107)65-73
- 「古典はどのように読まれているか 古典をどのように導入するか」浦山きか『伝統鍼灸』35(2)39-52
- 「『杉山流三部書』の成立経過について(抄)」大浦宏勝，市川友理『日本医史学雑誌』55(2)184
- 「和田正長の残した『杉山真伝流』全巻の検証」大浦宏勝，市川友里『日本医史学雑誌』55(3)329-345
- 「『ドン・キホーテ』にみる保護の三つの型について(抄)」小曾戸明子『日本医史学雑誌』55(2)165
- 「岡西為人『宋以前医籍考』の校訂出版にあたって(抄)」郭秀梅『日本医史学雑誌』55(2)208
- 「喜多見行正著「歯科医業と法律全」(大正8年3月)について」加來洋子，卯田昭夫，石橋肇他『日本歯科医史学会々誌』28(1)34-43
- 「米国カリフォルニア州立大学サンフランシスコ校医学部図書館所蔵の日本古医書の概要(抄)」梶谷真司『日本医史学雑誌』55(2)216
- 「武田科学振興財団杏雨書屋蔵『聖徳太子伝暦』奥書攷(一)一本書の系譜とそれに連なる人々の事跡一」兼子恵順『杏雨』(12)360-393
- 「『沙石集』の中の身体に関わる表現(抄)」計良吉則『日本医史学雑誌』55(2)219
- 「『杏雨書屋の三十年』杏雨書屋所蔵 積砂版大藏經の刊記」古泉圓順『杏雨』(12)136-149
- 「重要文化財 香要抄二 釈文・校異・解釈」古泉圓順『杏雨』(12)2-130
- 「還流する医学古典 日本から中国へ」小曾戸洋『福岡医師漢方研究会会報』30(5)4-10
- 「『啓迪集』の書誌研究(抄)」小曾戸洋，町泉寿郎，天野陽介『日本医史学雑誌』55(2)210
- 「江戸考証医家の蔵書目録について(抄)」木場由衣登『日本医史学雑誌』55(2)183
- 「原典・古典の紹介 藤原宮子の「幽憂」『続日本記』天平9年12月の記事について」鈴木英鷹『精神科』15(6)594-598
- 「『医学天正記』について(十)」高島文一『啓迪』27,1-8
- 「『錦囊智術全書』一作者についての考察(抄)」高橋雅夫『医譚』(106)169-171
- 「漱石蔵書中の精神医学書 狩野謙吾の『神経衰弱の豫防法』と『神経衰弱自療法』」高橋正雄『聖マリアンナ医学研究誌』9,18-26
- 「眼秘目録について(続)」竹田眞『北辰』10,32-38
- 「杏雨書屋所蔵『生生堂傷寒論』と『生生堂傷寒約言』一書誌・文献・医学思想一」館野正美『杏雨』(12)432-450
- 「田中彌性園収蔵古医書のうち稀本(II)(抄)」田中祐尾『医譚』(106)172-173
- 「『熙載録』の鍼法(抄)」鶴田泰平『日本医史学雑誌』55(2)185
- 「『小右記』の鍼灸(抄)」寺川華奈『日本医史学

雑誌』55(2)211

「天理図書館所蔵の明刊本『素問糾略』について(抄)」長野仁『日本医史学雑誌』55(2)214

「ペリー来航後に平野重誠が著した救急書『軍陣備要救急摘方』(1853)(抄)」中村節子, 平尾真智子『日本医史学雑誌』55(2)205

「『緒方春朔文書』の考察(抄)」西巻明彦『日本医史学雑誌』55(2)182

「『医道日用綱目』の版種について(抄)」野澤隆幸, 天野陽介, 小曾戸洋『日本医史学雑誌』55(2)180

「Ludlow's Manual of Medical Examinations (1867年版)と和訳本『医学七科問答』(明治12-13年刊)(抄)」樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』28(2)122

「武田科学振興財団杏雨書屋所蔵 江戸期名医たちの書翰」町泉寿郎『杏雨』(12)394-431

「北米国立医学図書館に所蔵する日本古医書(善本類を中心に)(抄)」町泉寿郎『日本医史学雑誌』55(2)218

「渋江家所蔵の史料と鷗外の「渋江抽斎」(抄)」松木明知『日本医史学雑誌』55(2)151

「杏雨書屋第22回研究会講演録「杏雨書屋の洋書」江戸時代の薬物辞典レキシコンとドログレイン」松田清『杏雨』(12)185-209

「韓国国立中央図書館の古医籍(抄)」真柳誠『日本医史学雑誌』55(2)215

「上方蘭学者 吉雄元吉の「遠西奇水拔萃」について(抄)」ミヒェル ヴォルフガング『日本医史学雑誌』55(2)144

「通行本『崔氏脈訣』と原書『玄白子西原正派脈訣』との異同について(抄)」吉岡広記『日本医史学雑誌』55(2)209

「『中医図書連合目録』における「東医宝鑑」の所蔵状況について」吉田和裕『医譚』(106)67-77

「戦前の雑誌『医道』について(抄)」渡辺浩二, 小曾戸洋, 星野卓之, 天野陽介, 花輪壽彦『日本医史学雑誌』55(2)181

「Yale 大学 Cushing 図書館 Fry Collection の漢方刷り物について(抄)」渡部幹夫『日本医史学雑誌』55(2)217

29 小児科史

「病弱虚弱児・障害児教育への細い系譜—三田谷啓「児童虐待に就いて」から子どもに関わる問題を読む—」小野尚香『医譚』(107)4-21

「沖繩で行われた乳幼児の瀉血の実態と推移(抄)」川満恵子, 儀間繼子, 玉城陽子, 大嶺ふじ子, 宮城万里子他『日本助産学会誌』22(3)357

「【赤ちゃん誕生 今昔物語】赤ちゃん誕生の今昔50年間の小児歯科臨床の中から」桑原未代子『小児歯科臨床』14(3)50-55

「【新生児の人工呼吸】我が国のNICUにおける人工呼吸療法の歴史と成果」仁志田博司『周産期医学』39(7)841-845

「【赤ちゃん誕生 今昔物語】出産にまつわる時代の変遷」昇幹夫『小児歯科臨床』14(3)12-19

「日本における発達障害の子ども・人への支援の歴史と展望」山口薫『発達障害研究』31(1)34-41

30 神経学史

「成体神経発生の発見の歴史 (A history of the discovery of adult neurogenesis) (英語)(抄)」SEKI Tatsunori『Neuroscience Research』65(Suppl.1)4-5

「神経細胞活動性の歴史を標識する基礎的原理とその生物学的意義 (Basic principle for labeling history of neuronal activity and its biological significance) (英語)(抄)」ICHIJO Hiroyuki, NAGAI Takeharu, HAMADA Michito 他『Neuroscience Research』65(Suppl.1)45

「Paraplegia 医学の遺産 An inheritance of the 20th century paraplegic medicine (抄)」小野啓郎『日本脊椎脊髄病学会雑誌』20(1)6

「神経学・半世紀の進歩 神経学の発展と社会貢献」葛原茂樹『臨床神経学』49(11)741-744

「日本における神経学の歴史と神経学教育 (History of neurology and education of neurology in Japan) (英語)」Kuzuhara Shigeki『臨床神経学』49(11)968-971

「ブルターニュ地方の犬吠き女(抄)」小泉明『日本社会精神医学会雑誌』18(1)132

「自律神経学研究の歴史」高橋昭『自律神経』46 (5) 361-369

「レム睡眠行動異常症の歴史的展開とその病態生理」立花直子『BRAIN and NERVE：神経研究の進歩』61 (5) 558-568

「原典・古典の紹介 落語にみられる神経内科疾患（その1）」古谷博和『神経内科』71 (3) 320-325

「私のパラ神経研究 その2 ATPトランスポーターの発見」森山芳則『ミクروسコピア』26 (3) 187-191

31 診断学史

「胃癌診断の今昔 マクロとミクロの時代，そして分子マーカーへ」北島政樹，天津敦，今野宏之他『胃がん』2 (1) 5-19

「内科医60余年 糖尿病学を学ぶ 糖尿病の診断のあゆみ」小坂樹徳『診断と治療』97 (5) 1094-1102

「【だから私は超音波に期待を寄せる】診断の有用性を臨床で活かす Tissue Elasticity Imaging（エラストグラフィひずみ像）の歴史と2009年における現状」中島一毅『新医療』36 (5) 46-51

「石綿関連疾患の診断と治療」名取雄司『保団連』(1015) 44-48

「【精神鑑定と責任能力】責任能力判定の歴史」西山詮『こころのりんしょう a・la・carte』28 (3) 472-476

「組織細胞化学50年の歩みのなかで，過去を振り返り，現在を見つめ，今後を展望する 組織細胞化学と病理診断 その歴史的変遷と将来展望（抄）」根本則道，中西陽子，本間琢『日本組織細胞化学会総会・学術集会講演プログラム・予稿集50回』39

「【All About IVUS】IVUSの原理とその歴史を知る」本江純子『Coronary Intervention』5 (5) 9-13

32 整形外科史

「接骨術 日本と中国歴史と研究（抄）」Leung Ping-Chung『柔道整復・接骨医学』17 (5) 344-347

「骨・軟部腫瘍研究の歴史，臨床応用への課題 悪

性骨・軟部腫瘍の転移 研究の歴史と臨床応用への課題（抄）」岩本幸英『日本整形外科学会雑誌』83 (6) 813

「人工肘関節置換術の機種選択と臨床成績 人工肘関節の歴史的変遷（抄）」加藤博之，内山茂春，伊坪敏郎，岩崎倫政，三浪明男『日本整形外科学会雑誌』83 (3) S601

「「難波のほねつぎ」（大阪における柔道整復術の流れ）『骨継療治重宝記』とその手法（抄）」我部正彦『柔道整復・接骨医学』17 (5) 355

「骨延長の歴史」川端秀彦『大阪府立母子保健総合医療センター雑誌』24 (2) 80-82

「整形外科の歴史 20世紀初期から中後期へ イギリス連邦諸国の整形外科の近代化 ニュージーランドの整形外科の近代化（1-3）」蒲原宏『整形外科看護』14 (1-3) 94-95, 204-207, 302-304

「整形外科の歴史 20世紀初期から中後期へ イギリス連邦諸国の整形外科の近代化 南アフリカの整形外科の近代化（1-3）」蒲原宏『整形外科看護』14 (4-6) 406-407, 516-518, 624-626

「整形外科の歴史 20世紀初期から中後期へ イギリス連邦諸国の整形外科の近代化 アイルランドの整形外科の近代化（1-3）」蒲原宏『整形外科看護』14 (7-9) 732-733, 846-848, 948-950

「整形外科の歴史 20世紀初期から中後期へ イギリス連邦諸国の整形外科の近代化（附篇）イギリス整形外科史の研究者たち（1-3）」蒲原宏『整形外科看護』14 (10-12) 1056-1057, 1150-1152, 1256-1257

「「オルトペディ」の起源と造語者ニコラ・アンドリ（Nicolas Andry, 1658-1742）付・以後の整形外科小史」小林晶『日本整形外科学会雑誌』83 (11) 916-930

「「オルトペディ」の起源と造語者ニコラ・アンドリ（1658-1742）（抄）」小林晶『日本整形外科学会雑誌』83 (3) S698

「運動器の治療学 整形外科治療史」小林晶『最新整形外科学大系』3, 1-17

「骨・軟部腫瘍研究の歴史，臨床応用への課題 骨肉腫研究 興奮，消沈，諦観，そして再び未来

- への夢(抄)」戸口田淳也, 中山富貴, 仲俣岳晴他『日本整形外科学会雑誌』83(6)812
- 「難波のほねつぎ」《大阪に於ける柔道整復の流れ》文献の偉業「整骨新書」と「各務模骨」(抄)中川敏郎『柔道整復・接骨医学』17(5)356
- 「【研修医が知っておきたい骨折治療マニュアル】創外固定の歴史」松下隆『関節外科』28(4月増刊)34-41
- 「北海道における人工関節置換術の現状と課題 北海道における人工関節置換術の歴史と手術手技上の論点」松野誠夫『北海道整形災害外科学会雑誌』50(2)159-173
- 「写本『家法難波骨接継秘伝』と接骨術取得の誓詞(抄)」横田良介『接骨医学』17(5)356
- 「骨・軟部腫瘍研究の歴史, 臨床応用への課題 骨・軟部腫瘍におけるBMP研究 歴史と展望(抄)」吉川秀樹『日本整形外科学会雑誌』83(6)812
- 「骨・軟部腫瘍研究の歴史, 臨床応用への課題 骨・軟部肉腫のペプチドワクチン療法(抄)」和田卓郎, 川口哲, 塚原智英他『日本整形外科学会雑誌』83(6)813
- 33 精神医学史**
- 「老年精神医学の今後を考える」新井平伊, 繁田雅弘, 本間昭他『老年精神医学雑誌』20(4)460-473
- 「北陸のこころの医療史 水治療(瀧行)について(抄)」伊崎公德『北陸神経精神医学雑誌』23(1-2)73
- 「精神病者監護法下の千葉県各地の寺院による「参籠」の性格と役割(抄)」板原和子『精神医学史研究』13(1)71-72
- 「地域性の違いからみえる精神障害者の参籠の性格 千葉県の5つの寺院における精神障害者の参籠の調査から(抄)」板原和子『日本社会精神医学会雑誌』18(1)131
- 「【Clozapineへの期待】治療抵抗性統合失調症の歴史の変遷」稲垣中『臨床精神薬理』12(7)1349-1361
- 「精神医学概念の歴史とアクチュアリティ 統合失調症とモデルニテ」内海健『精神医学史研究』13(1)61-69
- 「精神医学概念の歴史とアクチュアリティ 失語症候論の現在 アナルトリーの系譜」大東祥孝『精神医学史研究』13(1)48-53
- 「「軽症内因性うつ病」の発見とその現代的意義 うつ病態分類をめぐる単一論と二分論の論争, 1926-1957年の英国を中心に」大前晋『精神神経学雑誌』111(5)486-501
- 「【精神疾患のブレインバンク設立に向けて】精神疾患の死後脳研究の歴史, 現状, 今後の展望」加藤忠史『脳と精神の医学』20(1)1-4
- 「奄美諸島の米軍占領下の私宅監置」金川英雄『精神医学研究所業績集』(44)47-55
- 「精神障害者と修験道東京高尾山の歴史(抄)」金川英雄, 堀みゆき『日本社会精神医学会雑誌』18(1)131
- 「【森田療法の発展と課題】創始90周年を迎えた森田療法」北西憲二『臨床精神医学』38(3)253-263
- 「和歌山県における精神医療の歴史(抄)」北端祐司『日本病院・地域精神医学会総会抄録集52回』88
- 「急性精神病の現状と再考 診断・治療から急性精神病の診断における歴史的背景と概念整理(抄)」康純『精神神経学雑誌』(2009特別)210
- 「石田昇『新撰精神病学』にみる狂の文字の消退について」小曾戸明子『医譚』(106)171-172
- 「社会情勢の変化と民間精神障害者収容施設の盛衰 定義温泉の場合(抄)」近藤等『日本社会精神医学会雑誌』18(1)131
- 「統合失調症の仮想史(抄)」酒井明夫『精神神経学雑誌』(2009特別)199
- 「精神医学概念の歴史とアクチュアリティ 精神医学における近代(1a modernite)と神経症概念」鈴木國文『精神医学史研究』13(1)54-60
- 「フランス精神医学の流れ フランス精神医学の中の精神分析 受容と変容」鈴木國文『臨床精神病理』30(1)28-39
- 「奈良時代の精神医学(精神医学の萌芽)」鈴木英鷹『精神医学』51(2)137-145
- 「精神医学 これまでとこれからの10年」武田雅

- 俊，小山司，中込和幸他『Schizophrenia Frontier』10 (4) 294-305
- 「心を体と歴史から診る 私的・心身医学序説」富田和巳『日本小児科学会雑誌』113 (11) 1664-1670
- 「メラニコリー型性格の普遍性と時代規定性（抄）」中村治『精神医学史研究』13 (1) 74
- 「精神医学概念の歴史とアクチュアリティ Freudの『失語論』（1891）ひとつの結節点として」中村靖子『精神医学史研究』13 (1) 42-47
- 「【森田療法の発展と課題】 森田療法を生み出した時代とその臨床的背景を探る 森田療法の成立に先立つ「祈禱性精神症（病）」研究の意義」中山和彦，忽滑谷和孝，小野和也『臨床精神医学』38 (3) 327-334
- 「大正期のフロイト受容と文学（抄）」新田篤『精神医学史研究』13 (1) 76-77
- 「【解離性障害】 解離研究の歴史」野間俊一『こころのりんしょう a・la・carte』28 (2) 277-283
- 「【解離性障害】 解離性障害という疾患名は，いつごろから使われるようになったのでしょうか？」野間俊一『こころのりんしょう a・la・carte』28 (2) 214
- 「老いのたわごと 日本社会精神医学外史（その2）」浜田晋『精神医療』（53）115-119
- 「現代社会とうつ病 うつ病の薬物療法 過去・現在・未来」樋口輝彦『昭和医学会雑誌』69 (4) 372-375
- 「精神科病院看護人の系譜，強力と日本赤十字社看護人（抄）」堀みゆき，米田恵美，金川英雄『日本社会精神医学会雑誌』18 (1) 130
- 「地方都市精神病院における作業療法の草分け（大正初期における七山病院の取り組み）」本多義治，鈴木英鷹，本多秀治他『精神神経学雑誌』111 (9) 1047-1054
- 「フランス精神医学の流れ フランス精神医学症候論に「疾病類型（理想型）」をみる試み」松本雅彦『臨床精神病理』30 (1) 19-27
- 「日本における犯罪学の歴史と動向 心理学 日本の犯罪心理学の歴史と動向（その2）戦後編」森武夫『犯罪学雑誌』75 (2) 44-53
- 「ドイツ語圏精神医学におけるパラノイア問題の消長 ランゲ以前と以後」渡邊俊之『臨床精神病理』30 (1) 57-62
- ### 34 生物学史
- 「近代医学生物学と東洋，西洋の思想」松田誠『東京慈恵会医科大学雑誌』124 (4) 177-190
- ### 35 西洋医学史
- 「セルビアにおける手術 過去と現在（Surgery in Serbia: past and present）（英語）（抄）」Cuk Viadimir M.『日本消化器外科学会雑誌』42 (7) 924
- 「世界医学史の旅23 シリア医史跡散歩 下」石田純郎『ミクロスコピア』26 (1) 60-63
- 「懐旧のドイツ その二十六-二十九 ドレスデンの蹠（10）-（13）」上野賢一『ミクロスコピア』26 (1-4) 55-58, 147-150, 237-239, 323-326
- 「【諸外国における高齢者への終末期ケアの現状と課題】 イギリスにおける終末期ケアの歴史と現状 日本への教訓」加藤恒夫『海外社会保障研究』（168）4-24
- 「ペルガモンのアスクレピエイオン遺跡」河部康男『STETHOSCOPE』（195）9-14
- 「英国医史—ヘルスサービス考（抄）」栗本宗治『医譚』（106）157-158
- 「『ヒポクラテス全集』における尿路結石に関する記述 とくに，切石術と切石師の用語について」齊藤博『泌尿器外科』22 (5) 683-688
- 「ロンドン外科学史瞥見 フレミング博物館を訪ねて」佐藤裕『臨床外科』64 (8) 1133-1136
- 「ロンドン外科学史瞥見—ジョン・ハンターと王立外科医協会—（抄）」佐藤裕『日本医史学雑誌』55 (2) 192
- 「シルヴィウスによるヴェサリウス批判についての検討（抄）」澤井直『日本医史学雑誌』55 (2) 176
- 「西欧中世盛期の薬草書～ヒルデガルト・フォン・ビンゲンの宇宙観と四体液説～（抄）」田中玉美『薬史学雑誌』44 (2) 119-120
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 ヒポクラテス生誕の地コス島を訪ねて」中島旻保

- 『治療』91(1)160-166
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 急性病の養生法」中島旻保『治療』91(2)367-372
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 内科疾患について(1)-(2)」中島旻保『治療』91(3-4)523-527,709-714
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 流行病(1)-(2)」中島旻保『治療』91(5-6)1592-1597,1822-1827
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 食餌法(1)-(2)」中島旻保『治療』91(7-8)1981-1985,2118-2123
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 夢」中島旻保『治療』91(9)2306-2310
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 予後」中島旻保『治療』91(10)2525-2529
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 予言」中島旻保『治療』91(11)2740-2745
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 痔・痔瘻」中島旻保『治療』91(12)2883-2888
- 「西洋古典学におけるジェンダー研究 その歴史と展望(2)」西村賀子『和歌山県立医科大学保健看護学部紀要』5,1-8
- 「ベルリンのCharite病院と医学史博物館」古川哲雄『神経内科』71(2)210-215
- 「医学史の旅 ギリシャ オリュムピア」星和夫『日本病院会雑誌』56(1)95-98
- 「医学史の旅 ギリシャ アルカディア地方・イオニア諸島」星和夫『日本病院会雑誌』56(2)219-222
- 「医学史の旅 ギリシャ デルポイ」星和夫『日本病院会雑誌』56(3)315-319
- 「医学史の旅 ギリシャ 中北部地方」星和夫『日本病院会雑誌』56(4)435-438
- 「医学史の旅 エーゲ海の島々 キクラデス諸島」星和夫『日本病院会雑誌』56(5)555-559
- 「医学史の旅 クレータ島」星和夫『日本病院会雑誌』56(6)743-747
- 「医学史の旅 エーゲ海の島々 ドーデカニサ諸島」星和夫『日本病院会雑誌』56(7)847-851
- 「医学史の旅 エーゲ海の島々 コス島(1-2)」星和夫『日本病院会雑誌』56(8-9)979-982,1091-1095
- 「医学史の旅 エーゲ海の島々 スポラデス諸島」星和夫『日本病院会雑誌』56(10)1199-1202
- 「医学史の旅 トルコ イスタンブール(1)-(2)」星和夫『日本病院会雑誌』56(11-12)1327-1330,1451-1454
- 「ソルフェリーノの思い出」星和夫『STETHOSCOPE』(196)6-12

37 生理学史

- 「Brain Science ノックアウトマウス解析からみるセロトニン受容体研究の歴史」田中謙二『精神科』15(2)175-177
- 「発熱研究の今昔」渡邊達生『臨床体温』27(1)3-9

38 地方史

- 「糖尿病療養指導士の歴史と展望 山梨地域糖尿病療養指導士の歩み」会田薫, 小林哲郎『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』8(3)437-439
- 「日本精神医学新風土記 滋賀県」青木治亮『臨床精神医学』38(10)1537-1540
- 「資料翻刻 佐賀藩『医業免札姓名簿』について」青木歳幸『佐賀大学地域学歴史文化研究センター研究紀要』(3)35-73
- 「糖尿病療養指導士の歴史と展望 兵庫県のCDEの現状について」阿佐美実, 松下健次, 加古雅子『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』8(5)740-743
- 「長崎県の明治初期における産婆取締りについて」荒木美幸, 大石和代『保健学研究』22(1)51-55
- 「秋田厚生会子宮がん検診42年の歩み」五十嵐信一, 高橋寿明, 菊地優子他『秋田県農村医学会雑誌』54(2)12-15
- 「北海道における骨軟部腫瘍の基礎と臨床 北海道における骨軟部腫瘍の基礎・臨床の歴史」石井清一『北海道整形災害外科学会雑誌』51(1)27-31
- 「北海道における骨軟部腫瘍の基礎と臨床 北海道における骨肉腫化学療法史の歴史と課題」井須和男『北海道整形災害外科学会雑誌』51(1)44-47

- 「相州詰彦根藩医の手控え—石原純章の記録を読む—」海原亮『市史研究横須賀』(8)
- 「近世後期における村方の医療統制—小倉藩を事例として—」大田黒真美『七隈史学』
- 「京都の医家に養子泰安を入門させた秋田県産業医門屋養安のことども」奥沢康正『医譚』(106) 165-166
- 「日本精神医学新風土記 沖縄県」小椋力『臨床精神医学』38(4) 481-497
- 「岡山の医学」小田皓二『日本臨床整形外科学会会報』3(1) 24-26
- 「京都府岩倉と進行麻痺(抄)」金川英雄，堀みゆき『日本社会精神医学会雑誌』18(1) 130-131
- 「『北陸—農村の結核に関する集団検診成績—福井県島羽村—」後藤幸一『医学史研究』(92) 29-35
- 「宮城県における太平洋戦争以前の精神障害者収容施設について・補遺(抄)」近藤等『精神医学史研究』13(1) 74
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道21 管鍼術を発明した杉山和—東京都墨田区—」酒井シヅ『社会保険』(703) 27
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道22 検校杉山和一の墓のある江の島—神奈川県藤沢市江の島—」酒井シヅ『社会保険』(704) 27
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道23 緒方洪庵の誕生地をたずねて—岡山県岡山市足守—」酒井シヅ『社会保険』(705) 27
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道24 佐野常民記念館—佐賀県佐賀市川副町—」酒井シヅ『社会保険』(706) 27
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道25 根津神社—東京都文京区根津—」酒井シヅ『社会保険』(707) 27
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道26 石見国の種痘記念碑をたずねて—島根県益田市染羽町—」酒井シヅ『社会保険』(709) 17
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道27 春日居郷土館・小川正子記念展示館—山梨県笛吹市—」酒井シヅ『社会保険』(710) 27
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道28 高野山総本山 金剛峯寺，奥の院—和歌山県伊都郡高野町高野山—」酒井シヅ『社会保険』(711) 27
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道29 シーボルトの娘，楠本イネのふるさと長崎をたずねて—長崎県長崎市—」酒井シヅ『社会保険』(712) 29
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道30 石見銀山と温泉津温泉—島根県大田市温泉津温泉—」酒井シヅ『社会保険』(713) 27
- 「糖尿病療養指導士の歴史と展望 島根の宝 島根県糖尿病療養指導士」佐藤利昭『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』8(2) 269-273
- 「福島県ゆかりの医人達」茂田士郎『福島医学雑誌』59(2-4) 87-88, 203-204, 254-255
- 「蝦夷地の医療(Ⅲ)(抄)」島田保久，片岡是充，菊田道彦『薬史学雑誌』44(2) 85
- 「戦後沖縄の保健・医療行政—その3 琉球政府の成立過程—(抄)」杉山章子『日本医史学雑誌』55(2) 160
- 「岩手県における保健師の現任教育の歴史的変遷からみた現状と課題(抄)」鈴木るり子『日本公衆衛生学会総会抄録集68回』591
- 「胃癌撲滅の50年 群馬県における胃癌検診の歴史(抄)」関口利和『日本消化器がん検診学会雑誌』47(1) 105-106
- 「日清戦争期における広島医療と看護」千田武志『広島医学』62(6) 315-330
- 「気象・気候と身体反応・疾患の関連性について—薩摩・大隅半島の天気ことわざを中心に—」高山真一郎『医譚』(106) 130-135
- 「気象と疾患の関連性についての民俗学的検討—関東平野周辺の天気ことわざを中心に—」高山真一郎『医譚』(106) 78-87
- 「風土病マラリアはいかに撲滅されたか—第二次大戦後の滋賀県彦根市—」田中誠二，杉田聡，安藤敬子，丸井英二『日本医史学雑誌』55(1) 15-30
- 「地域における「官立学校」の成立—高等学校校医学部の岡山県下設置問題—」田中智子『史林』92(6)
- 「日本精神医学新風土記 広島県」津久江一郎『臨床精神医学』38(3) 369-380

- 「若狭小浜の霊場小澤寺における滝治療(抄)」對馬秀子『日本医史学雑誌』55(2)162
- 「中島友玄の「種痘諸事留」—岡山県邑久郡における江戸後期~明治初期の種痘の変遷—(抄)」中島洋一, 木下浩『日本医史学雑誌』55(2)148
- 「大分県における「スペインかぜ」の流行とその社会的影響」長野浩典『大分縣地方史』(207)
- 「糖尿病療養指導士の歴史と展望(第10回)福岡県筑後地区における地域糖尿病療養指導士の育成に関わって」布井清秀『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』8(6)899-902
- 「茨城県からの発信 障害のある小児を支える地域リハビリテーション 茨城県の障害のある小児の歴史と現状」根本哲廣『地域リハビリテーション』4(1)90-92
- 「戦前の大分県における私宅監置患者の健康状態について」橋本明『日本社会精神医学会雑誌』17(3)257-266
- 「山梨県身延山の精神病患者(抄)」橋本明『精神医学史研究』13(1)75-76
- 「奄美諸島における精神病患者私宅監置の経験と記憶(抄)」橋本明, 金川英雄, 板原和子『日本社会精神医学会雑誌』18(1)130
- 「北海道の心身医学 その先達と現状」久村正也『北海道医報』(1091)20-22
- 「岩手県金ヶ崎町(城内諏訪小路重要伝統的建造物群保存地区)より輩出せる明治女医2名(抄)」福岡正和『日本医史学雑誌』55(2)157
- 「岡山県精神保健福祉センターにおける訪問・往診の歴史と展望」藤田健三『病院・地域精神医学』52(1)34-36
- 「長崎居留地における西洋医学」ブライアン・バークガフニ『日本臨床内科医会誌』23(5)545-552
- 「日本精神医学新風土記 兵庫県」古橋淳夫『臨床精神医学』38(2)231-237
- 「日本精神医学新風土記 大阪府」本多義治『臨床精神医学』38(8)1105-1108
- 「幕末から明治期佐賀の指導医たち—お雇い外国人医師を含めて—(抄)」前山隆太郎『日本医史学雑誌』55(2)133-134
- 「近世, 眼病を巡る人々の動き—徳山藩における筑前目医師田原氏を中心に—」吉積久年『山口県文書館研究紀要』(36)
- 「沖縄における看護職養成の歴史の変遷の特徴(抄)」嘉手苺英子『日本看護学教育学会誌』19, 143
- 「糖尿病療養指導士の歴史と展望 大分 LCDE の活動」渡辺鈴子, 阿部信行『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』8(1)105-108

39 治療史

- 「気管内挿管の歴史(The History of Endotracheal Intubation)(英語)(抄)」Parker Jeffrey D.『日本臨床麻酔学会誌』29(6)135
- 「肺癌に対する気管支形成術の歴史と現状(History and current status of bronchoplastic surgery for lung cancer)(英語)」Deslauriers Jean, Tronc Francois, Gregoire Jocelyn『General Thoracic and Cardiovascular Surgery』57(1)3-9
- 「治療の歴史 原体照射と強度変調照射 放射線治療計画の変遷のなかで」青木幸晶, 中村謙『治療学』43(7)797-801
- 「治療の歴史 NASHの疾患概念と治療について」石井裕正『治療学』43(10)1141-1146
- 「【患者・家族にどう教える? 在宅人工呼吸ケアの知識と手技】在宅人工呼吸療法(HMV)」石原英樹『呼吸器ケア』7(7)733-734
- 「治療の歴史 多値不飽和脂肪酸と疾患」板倉弘重『治療学』43(8)901-905
- 「【安全なNOの使用を目指して】NO吸入療法の生理学と歴史的背景」市瀬史『臨床麻酔』33(6)959-965
- 「白血病治療の歴史 造血幹細胞移植」浦部晶夫『BIO Clinica』24(1)88-93
- 「白血病治療の歴史 分子標的療法」浦部晶夫『BIO Clinica』24(2)190-194
- 「治療の歴史 副作用の克服」越前宏俊『治療学』43(12)1356-1359
- 「【ARDS】ARDSに対する人工呼吸管理 基礎編 歴史の変遷とスタンダードな管理の問題点」大庭祐二『Intensivist』1(1)41-48

- 「慢性不眠症に対する認知行動療法の歴史と現状」岡島義，井上雄一『睡眠医療』3(4)529-534
- 「治療の歴史 血液悪性疾患における遺伝子変異とその治療」小川誠司『治療学』43(3)339-343
- 「【最新こそ最良説 放射線治療装置】がん治療のニーズに確実に応える 放射線治療機器の進歩を，がん患者のニーズ増大と臨床的効果から考える」小川恭弘『新医療』36(12)36-39
- 「園芸療法の歴史と実践」奥田栄一郎『大阪体育大学健康福祉学部研究紀要』6, 123-137
- 「治療の歴史 日本における緩和医療」柏木哲夫『治療学』43(4)473-476
- 「Intensive Insulin Therapy の歴史と現状」片山大輔，黒田浩佐，小松達彦『三豊総合病院雑誌』30, 4-7
- 「治療の歴史 抗心房細動薬」加藤和三『治療学』43(1)109-115
- 「憑祈禱の成立と阿尾奢法一平安中期以降における病氣治療との関わりを中心として」小山聡子『親鸞の水脈』(5)
- 「【ARDS】ARDS に対する非人工呼吸療法，薬物療法を中心に 過去，現在，未来 ECMO，PCPS などの体外循環」讚井将満『Intensivist』1(1)91-95
- 「【水中運動療法の歴史的概観】アメリカにおける現状の水中運動療法」清水富弘『日本温泉気候物理医学会雑誌』72(4)274-275
- 「【水中運動療法の歴史的概観】近代の水中運動療法」清水富弘『日本温泉気候物理医学会雑誌』72(2)167-168
- 「コラーゲ療法の起源について」杉浦京子『日本芸術療法学会誌』38(2)63-65
- 「薬物の皮膚浸透性と経皮吸収型製剤 角層バリア克服の歴史」杉野雅浩，藤堂浩明，杉林堅次『薬学雑誌』129(12)1453-1458
- 「研究の周辺から 歴史的局面を迎えた肺癌治療教科書が書き換わるこの10年」鈴木健司『呼吸』28(1)1-2
- 「活性型ビタミンDの発見が齎したもの 活性型ビタミンDはいかにして発見され，臨床に導入されたか（抄）」須田立雄『ビタミン』83(5-6)330
- 「吸入療法の歴史 吸入ステロイド薬 バイオアベイラビリティを考慮した創薬と吸入デバイスの開発」高橋敬治『吸入療法』1(2)68-77
- 「【免疫抑制療法と免疫療法 薬の上手な使い方】腎移植の免疫抑制療法 腎移植における免疫抑制療法の流れ」高橋公太『腎と透析』66(6)983-986
- 「治療の歴史 禁煙治療・指導」田中英夫『治療学』43(2)235-238
- 「【これでわかる！ 病態からみた免疫抑制薬の使い方】免疫抑制療法の歴史と最近の進歩」田中良哉『小児内科』41(11)1552-1556
- 「治療体操から運動療法へ」中川一彦『健康科学大学紀要』5(1)157-167
- 「吸入療法の歴史 β₂刺激薬」中島重徳『吸入療法』1(1)70-81
- 「楽しくスタート！ 糖尿病専門の薬剤師への道 糖尿病の薬物療法今昔 インスリン製剤」中野玲子『Clinical Pharmacist』1(4)389-394
- 「【糖尿病診療の最近の進歩】インスリン療法の進歩」難波光義，勝野朋幸，浜口朋也『日本医師会雑誌』138(1)40-44
- 「心肺蘇生法の歴史と最近の進歩 古代から中世における蘇生法」野々木宏『BIO Clinica』24(8)751-754
- 「心肺蘇生法の歴史と最近の進歩 救急システムの確立」野々木宏『BIO Clinica』24(11)1027-1030
- 「心肺蘇生法の歴史と最近の進歩（その4）救急システムの確立（つづき）」野々木宏『BIO Clinica』24(12)1030-1033
- 「【ARDS】ARDS に対する非人工呼吸療法，薬物療法を中心に 過去，現在，未来 ステロイドとその他の薬物療法」橋本圭司『Intensivist』1(1)79-86
- 「心肺蘇生法の歴史と今後の展望」菱谷隆『日本小児循環器学会雑誌』25(6)766-774
- 「ターミナルケア（終末期医療について）」日野原重明『PTM：最新の疾患別治療マニュアル』（2009年3月）n11-n12
- 「前立腺癌に対するホルモン療法の歩み この60

- 年でわかったこと」藤本直浩『西日本泌尿器科』71(3)93-100
- 「【悪性リンパ腫に対するRI標識抗体療法の基礎と臨床】放射免疫療法の歴史と将来展望」細野眞, 辰巳陽一, 金丸昭久他『血液フロンティア』19(12)1905-1911
- 「【インスリン治療の進歩】インスリンの発見」堀田饒『月刊糖尿病』1(3)20-25
- 「治療の歴史 アマンタジン」松本慶蔵『治療学』43(11)1245-1249
- 「治療の歴史 アンジオテンシン受容体拮抗薬(ARB)」宮崎瑞夫『治療学』43(5)579-584
- 「歴史を楽しむ 近代医療を支えるものは何か 近代医療を支えるものは何か 病原細菌の化学療法」森昌彦『歯科医療』23(1)99-115
- 「食の来た道, 1000年 食育, 食のいく道 肥満症の治療食を考える」山下光雄『食生活』103(1)59-63
- 「治療の歴史 再生医療」大和雅之『治療学』43(6)689-692
- 「糖尿病治療におけるバイオ人工臓の役割 その歴史の変遷と展望」湯浅壮司, 窪田康浩, 清田正之他『Organ Biology』16(3)315-323
- 「心不全とアルドステロン 長い歴史を持つアルドステロン研究の再燃」吉村道博『日本医事新報』(4420)57-61
- 「【貧血治療の新時代】わが国の透析治療における貧血治療の歴史」渡邊有三『透析患者の合併症とその対策』(18)1-5
- 40 伝記**
- 「アインシュタインの脳標本の由来」生田房弘『ミクロスコピア』26(4)330-333
- 「〈渡り〉が拓くもう一つの社会」後原〈隔離所〉時代の青木恵哉」中村文哉『山口県立大学学術情報』(2)71-99
- 「浅田宗伯医案について(抄)」渡辺浩二, 和智明彦, 蒲生裕司他『日本東洋医学雑誌』60(別冊)263
- 「足立文太郎について(抄)」島田和幸, 田松裕一, 塩田浩平『解剖学雑誌』84(Suppl.)128
- 「天池千恵子姉の開業助産師50年の歩み ライフヒストリーと助産録からの知見(抄)」豊田淑恵, 泉川孝子, 篠田利佳, 中野純子『日本助産学会誌』22(3)452
- 「儒医・茶人・有馬涼及」白崙顕成『医譚』(106)174
- 「成体脳でのニューロン新生の発見者 ジョセフ・アルトマン」石龍徳『ミクロスコピア』26(3)198-200
- 「済生学会講師 石川清忠と女子医学生教育の教育(抄)」志村俊郎, 唐澤信安, 殿崎正明, 岩崎一, 寺本明『日本医史学雑誌』55(2)154
- 「高杉晋作の主治医, 石田精一について一変革期草医の「雅」と「侠」」亀田一邦『日本医史学雑誌』55(4)411-425
- 「在米時代の一井正典書簡類・写真の紹介(抄)」松本晋一, 渋谷敦『日本歯科医史学会々誌』28(2)113
- 「肥前療養所の伊藤正雄一精神科病院全面開放の先駆者一(抄)」岡田靖雄『日本医史学雑誌』55(2)164
- 「追悼 乾修然先生「労働衛生」ひと筋に半世紀」田中千秋他『創健』(102)3-10
- 「ノーベル生理学・医学賞を受賞した研究者たち 9 モーリス・ウィルキンズ」工藤秀機『大塚薬報』(650)39-41
- 「ドラマティックな公衆衛生 先達たちの物語 社会改革なくして健康なし ルドルフ・ルートヴィヒ・カール・ウィルヒョー」神馬征峰『公衆衛生』73(2)137-139
- 「書簡からみる上田秋成の眼病の経過」杉浦守邦『啓迪』27, 9-23
- 「「杏雨書屋の三十年」日本の科学を創めた宇田川榕菴と杏雨蔵書」芝哲夫『杏雨』(12)150-165
- 「宇田川榕菴の西洋食文化研究」上野晶子『洋学史研究』(26)45-90
- 「ノーベル生理学・医学賞を受賞した研究者たち 10 パウル・エールリッヒ」工藤秀機『大塚薬報』(651)37-39
- 「魔弾の射手 パウル・エールリッヒ その3 医薬第一号・サルバルサン誕生」石田三雄『ミクロスコピア』26(1)25-31

- 「魔弾の射手 パウル・エールリッヒ その4 残照」石田三雄『ミクロスコピア』26(2)109-115
- 「加賀の奇才 からくり師大野弁吉の医薬知識(抄)」本康宏史『薬史学雑誌』44(2)96-97
- 「カルチノイドの名称の提唱者 S. Oberndorfer の生涯 100年前に蒔かれた一粒の種はいかに結実したか」曾我淳『日本臨床』67(11)2201-2206
- 「歴史に医療を見る 長州藩の優柔不断で手遅れになった大村益次郎の刀傷」篠田達明『Aging & Health』18(2)37-36
- 「緒方惟準の「海水浴ノ説」について」上田卓爾『医譚』(107)88-93
- 「医者も知りたい【医者のはなし】蘭学の華を咲かせた医師祖 その2 緒方洪庵(1810-1863)」木村専太郎『臨床整形外科』44(3)284-287
- 「岡山と緒方洪庵(抄)」緒方惟之『日本臨床整形外科学会会報』3(1)27-28
- 「東洋医学の史跡探訪 緒方洪庵と適塾」今井賢治『東洋医学』15(4)41-43
- 「緒方洪庵と適塾(抄)」多田羅浩三『日本小児外科学会雑誌』45(3)389
- 「岡治道一異色の東大病理学教授の生き方」多賀須幸男『人物研究』(24)29-39
- 「ドラマティックな公衆衛生 先達たちの物語 大きな夢，制度への挑戦 萩野吟子」神馬征峰『公衆衛生』73(9)690-693
- 「小野蘭山ときのこ」奥沢康正『啓迪』27,58-81
- 「近代整形外科学の先駆者，レオポルド・オリエ(1830-1900)の業績と生涯(抄)」小林晶『日本医史学雑誌』55(2)177
- 「解体新書と，付図を描いた小田野直武」藤本十四秋『川崎医療短期大学紀要』29,13-18
- 「解剖学を築いた人々 発生学者カイベルをめぐる(抄)」島田和幸，田松裕一『解剖学雑誌』84(Suppl.)127
- 「加治時次郎(4) 細民済生の志」大牟田太郎『人物研究』(24)87-113
- 「カハール先生の跡を訪ねて—I ヴァレンシア大学の教授となる」生田房弘『ミクロスコピア』26(2)116-122
- 「カハール先生の跡を訪ねて—II バルセロナ時代ニューロン説の基盤を礎く」生田房弘『ミクロスコピア』26(3)218-226
- 「カハール先生の跡を訪ねて—III サン・カルロス大学教授となつてから」生田房弘『ミクロスコピア』26(4)298-306
- 「歴史のなかのアポセカリ(2)—ロマン派詩人ジョン・キーツ(抄)」柳澤波香『薬史学雑誌』44(2)106
- 「北村元助と動植物学への貢献(その二)」イサベル・田中・ファン・ダーレン『鳴滝紀要』(19)1-14
- 「歴史に医療を見る 吉良上野介の刀傷を治療した外科医」篠田達明『Aging & Health』18(1)37-36
- 「解剖学を築いた人々『解体新書』の原著『解剖学表』の著者 J. A. Kulmus(抄)」石田純郎『解剖学雑誌』84(Suppl.)126
- 「追悼 小石秀夫先生のご逝去を悼む」中山沃『医譚』(106)3-5
- 「青い血のカルテ(SERIES 67) 孝明天皇と種痘」早川智『産科と婦人科』76(11)1488-1490
- 「医者も知りたい【医者のはなし】シーボルトの弟子・日本眼科学の父 阿波の人・高良斎(1799-1846)」木村専太郎『臨床整形外科』44(10)1032-1035
- 「医者も知りたい【医者のはなし】蘭学の華を咲かせた医師 その3 備前蘭学の祖・児玉順蔵(1805-1861)」木村専太郎『臨床整形外科』44(6)582-585
- 「ノーベル生理学・医学賞を受賞した研究者たち 2 ローベルト・コッホ」工藤秀機『大塚薬報』(643)39-41
- 「【創造性と老年期精神神経疾患】ゴヤと創造性 戦禍・病い・奇想」江口重幸『老年精神医学雑誌』20(1)16-24
- 「N. S. コロトコフの系譜(抄) N. S. Korotkov's Family Tree」藤倉一郎『日本医史学雑誌』55(2)191
- 「“栄養”は栄養寺から 世界の栄養学の父—佐伯矩博士—」恩地森一『大塚薬報』(648)42-47
- 「歯科医史教育・榊原悠紀田郎先生の講義から

- (抄) 石井拓男『日本歯科医史学会々誌』28(2) 89
- 「榎原悠紀田郎先生を偲んで」石井拓男『日本歯科医史学会々誌』28(1) 1-2
- 「佐賀藩医 相良知安とドイツ医学(抄)」相良隆弘『日本医史学雑誌』55(2) 135-138
- 「先見の人 佐野常民(抄)」福岡博『日本医史学雑誌』55(2) 140-141
- 「フィリップ・フランツ・フォン・シーボルトの人生とその時代(The Life and Times of Philipp Franz von Siebold)(英語)」Thiede Arnulf『Surgery Today』39(4) 275-280
- 「フォン・シーボルトが創設した出島オランダの印刷所」石山禎一『法政史学』(71)
- 「青い血のカルテ 始皇帝と長寿の霊薬」早川智『産科と婦人科』76(7) 872-874
- 「志筑忠雄について」片桐一男『洋学史研究』(26) 1-44
- 「志筑忠雄の実家—中野家に関するノート」松尾龍之介『洋学史研究』(26) 105-111
- 「札幌病院初代院長渋谷良次の肖像写真をめぐって(抄)」宮下舜一, 菊田道彦『薬史学雑誌』44(2) 86
- 「ノーベル生理学・医学賞を受賞した研究者たち 6 ハンス・シュペーマン」工藤秀機『大塚薬報』(647) 37-39
- 「医者も知りたい【医者のはなし】新宮涼庭(1787-1854)」木村専太郎『臨床整形外科』44(12) 1230-1233
- 「医者も知りたい【医者のはなし】蘭学の華を咲かせた医師 杉田玄白(1733-1817)」木村専太郎『臨床整形外科』44(1) 72-75
- 「鈴木元造宛書簡集」芝哲夫『医譚』(106) 166-167
- 「第三高等学校校医・鈴木宗泰先生」廣谷速人『啓迪』27, 24-33
- 「石龍子と相学提要」中山茂春『日本医史学雑誌』55(3) 371-376
- 「石龍子と相学提要—筑後久留米藩で最初に解剖をした医師 酒井義篤が病相を担当執筆—(抄)」中山茂春『日本医史学雑誌』55(2) 196
- 「故芹澤勝助先生の鍼灸医療に関する功績と新たな展望 筑波大学理療科教員養成施設の歴史と芹澤勝助先生の功績(抄)」吉川恵士『全日本鍼灸学会雑誌』59(3) 229
- 「古典あれこれ 顔の表情小話 ダーウィン(第3部)」飯沼壽孝『JOHNS』25(8) 1181-1188
- 「高木兼寛の健康教育観に関する研究(第4報)—臨時教育会議での女子教育改善に関する発言内容から—(抄)」芳賀佐和子, 平尾真智子, 蝦名總子『日本医史学雑誌』55(2) 204
- 「高木憲次先生の肢体不自由児療育 運動器リハビリテーションのルーツ(抄)」高取吉雄『運動療法と物理療法』20(2) 101
- 「高橋慈本と悲眼院 救療から児童養護へ」坂本忠次『関西福祉大学社会福祉学部研究紀要』(12) 217-225
- 「高橋琢也と学生達(疾風怒濤の物語)(1)」友田あき夫『東京医科大学雑誌』67(4) 410-424
- 「【ホルモンと運動】アドレナリンの発見と高峰讓吉」山嶋哲盛『体育の科学』59(8) 518-527
- 「科学者のふるさとを訪ねる 第13回 フェルマーの大定理を証明する「谷山・志村予想」を出した数学者 谷山豊(1927-1958) 埼玉県西町」西條敏美『ミクروسコピア』26(3) 240-242
- 「古典あれこれ 顔の表情小話 デシャンス(第1部)」飯沼壽孝『JOHNS』25(1) 122-127
- 「ナイチンゲールの7つの素顔(その1)」金井一薫『総合看護』44(3) 49-58
- 「ドラマティックな公衆衛生先達たちの物語 失敗から改革へ 共感をもって着実に フローレンス・ナイティンゲール」神馬征峰『公衆衛生』73(8) 607-610
- 「科学者のふるさとを訪ねる 第14回 エフェドリンを発見した日本薬学の祖 長井長義(1845-1929) 徳島県徳島市」西條敏美『ミクロスコピア』26(4) 327-329
- 「中島友玄の京都遊学日記(二)-(三)」中島洋一『医譚』(106, 107) 145-156, 80-87
- 「在村蘭方医西山静斎—幕末期・北播磨における洋学展開の一事例」西山勝仁『北播磨探史研究』(3)
- 「療病院の継承と忍性」亥口勝彦『医譚』(106) 162

- 「野口英世のサイン本—ワッセルマン教授宛て—」
中村澄夫『ミクروسコピア』26(4) 290-292
- 「野村茂先生の業績回顧—医学史研究を中心に—」
原一郎『医学史研究』(92) 20
- 「ノーベル生理学・医学賞を受賞した研究者たち
7 フランク・バーネット」工藤秀機『大塚薬報』(648) 33-35
- 「1930年代における橋田邦彦の医育活動 東京帝国大学仏教青年会健康相談部と医道会（抄）」
勝井恵子『医学教育』40(Suppl.) 67
- 「【内分泌病理学 最近の進歩2008】甲状腺および副甲状腺腫 歴史 橋本策（はかる）の恩師」
橋本和夫『ホルモンと臨床』57(秋季増刊) 154-163
- 「芭蕉と陰囊水腫—芭蕉はなぜ庭にバショウを植えたのか—」
杉浦守邦『医譚』(107) 35-54
- 「科学者のふるさとを訪ねる 番外 秦佐八郎の生家 島根県益田市美都町都茂」
西條敏美『ミクロスコピア』26(1) 32-33
- 「医者も知りたい【医者のはなし】 炎の眼科医 土生玄碩（1762-1848）」
木村専太郎『臨床整形外科』44(8) 826-829
- 「ノーベル生理学・医学賞を受賞した研究者たち
1 イヴァン・ペトロヴィチ・パブロフ」
工藤秀機『大塚薬報』(642) 47-49
- 「Pavlovのノーベル生理学・医学賞について」
宮田洋『生理心理学と精神生理学』27(3) 225-234
- 「江戸風俗に按摩師の技を描いた葛飾北斎 北斎の描写による江戸期のあん摩」
長谷川尚哉『医道の日本』68(12) 135-143
- 「原老柳肖像画保存と松本端」
古西義磨『医譚』(106) 14-21
- 「原老柳肖像画保存と松本端（抄）」
古西義磨『医譚』(106) 162-163
- 「『概報』日野鼎哉の往診」
末中哲夫『北播磨探史研究』(3)
- 「コス島アスクレピエイオンでの「ヒポクラテスの誓い」」
杉田克生『STETHOSCOPE』(189) 9-13
- 「胃癌診療の歴史（第4回）胃切除術成功への助走 ビルロートとライバルたち」
岡島邦雄『胃がん』2(3) 225-229
- 「看護歴史探訪 わが国における小児精神医療のパイオニア 富士川游の生涯とその思想」
佐々木秀美『看護学統合研究』10(2) 44-58
- 「生命倫理・富士川游顕彰事業 記念講演会 富士川游先生と奨進医会—安佐医師会の揺籃期—」
岡田靖雄『安佐医師会会報』(111) 6-23
- 「ノーベル生理学・医学賞を受賞した研究者たち
3 アレクサンダー・フレミング」
工藤秀機『大塚薬報』(644) 41-43
- 「Heinrich Ewald Hering（1866-1948）と圧受容器反射の発見（抄）」
田村直俊『日本自律神経学会総会プログラム・抄録集 62回』() 207
- 「お雇い外国人の見た日本② エルヴィン・フォン・ベルツ」
酒井シジ『望星』40(12) 26-32
- 「往時のメディアに現れた星一の評伝（抄）」
三澤美和『日本薬学会年会要旨集』(4) 325
- 「糖尿病の歴史 Priscilla Whiteと糖尿病患者の妊娠の分類」
葛谷健『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』8(4) 594-597
- 「ノーベル生理学・医学賞を受賞した研究者たち
4 バーバラ・マクリントック」
工藤秀機『大塚薬報』(645) 43-45
- 「京都大学整形外科学教室初代教授松岡道治の事蹟、業績—第3報 著書について—」
廣谷速人『日本医史学雑誌』55(1) 43-55
- 「種痘医 松本文斎について（抄）」
小西義磨『日本医史学雑誌』55(2) 147
- 「近代医学の先覚者 三浦謹之助の素顔（11）」
林栄子『人物研究』(24) 61-71
- 「科学者のふるさとを訪ねる 第12回 条理の自然哲学を樹立した村医 三浦梅園（1723-1789）
大分県国東市安岐町」
西條敏美『ミクロスコピア』26(2) 151-153
- 「三字經と医学—三木榮遺稿1—」
白井順『医譚』(106) 136-144
- 「三木榮宛の手紙—その一—」
白井順『医譚』(107) 55-64
- 「てんかんからみる人物の横顔 異論異説のてんかん史 南方熊楠」
扇谷明『てんかんの総合学術誌』3(1) 63-66
- 「宮入慶之助—日本住血吸虫中間宿主の発見

- (抄) 宮入源太郎『日本医史学雑誌』55(2) 153
- 「医師・三宅栄次小伝—オープンシステム病院・徳山博愛病院設立者—」山田友紀『山口県地方史研究』(101)
- 「Mikulicz に師事した日本における胃癌根治手術の推進者 三宅速(みやけ はやり)(抄)」佐藤裕, 永井英司, 田中雅夫『日本胃癌学会総会記事 81 回』331
- 「佐賀出身江戸初期の医傑・向井元升(1609–1677)・貝原益軒の主治医・去来の父(抄)」木村専太郎『日本医史学雑誌』55(2) 197
- 「蘭学者 村上代三郎の晩年について」西山勝仁『北播磨探史研究会報』5, 1–7
- 「解剖学を築いた人々 解剖学者メッケルの一族(抄)」天野修『解剖学雑誌』84(Suppl.) 126
- 「鷗外・森林太郎の真実」安宅夏夫『人物研究』(24) 77–86
- 「シンポジウム「森林太郎と森鷗外」」岡田靖雄『森鷗外記念会通信』(165) 1–2
- 「森鷗外と「北游日乗」, 「北遊記」—函館, 青森を中心として—」松木明知『日本医史学雑誌』55(1) 104–107
- 「森鷗外と医学留学生たち 14 日本近代医学の源流 森鷗外と河本重次郎」山崎光夫『大塚薬報』(642) 42–45
- 「森鷗外と医学留学生たち 15 日本近代医学の源流 森鷗外と瀬川昌耆・尾澤圭一」山崎光夫『大塚薬報』(643) 34–37
- 「森鷗外と医学留学生たち 16 日本近代医学の源流 森鷗外と隈川宗雄」山崎光夫『大塚薬報』(644) 36–39
- 「森鷗外と医学留学生たち 17 日本近代医学の源流 森鷗外と田口和美」山崎光夫『大塚薬報』(645) 38–41
- 「森鷗外と医学留学生たち 18 日本近代医学の源流 森鷗外と北川乙治郎」山崎光夫『大塚薬報』(646) 36–39
- 「森鷗外と医学留学生たち 19 日本近代医学の源流 森鷗外と佐方潜造・島田武次」山崎光夫『大塚薬報』(647) 32–35
- 「森鷗外と医学留学生たち 20–22 日本近代医学の源流 森鷗外と石黒忠憲(上)(中)(下)」山崎光夫『大塚薬報』(648–650) 36–39, 30–33, 34–37
- 「森鷗外と医学留学生たち 23 日本近代医学の源流 森鷗外と小池正直」山崎光夫『大塚薬報』(651) 32–35
- 「森鷗外と医学留学生たちの交流」山崎光夫『日本医史学雑誌』55(1) 108–110
- 「“統計論争”をとおしてみた森林太郎—シンポジウムへの導入をかねて—」岡田靖雄『日本医史学雑誌』55(1) 97–100
- 「森林太郎の医学大業績—臨時脚気病調査会の創設とその成果—」山下政三『日本医史学雑誌』55(1) 101–103
- 「ノーベル生理学・医学賞を受賞した研究者たち 8 リータ・レーヴィ・モンタルチーニ」工藤秀機『大塚薬報』(649) 35–37
- 「山川民夫 糖鎖生物学の夜明け(Tamio Yamakawa: Dawn of Glycobiology)(英語)」Suzuki Akemi『The Journal of Biochemistry』146(2) 149–156
- 「藩閥政治の日本医学校に与えた影響—日本医学校創立者 山根正次校長と苦難の学校経営—(抄)」岩崎一, 唐澤信安, 殿崎正明, 志村俊郎『日本医史学雑誌』55(2) 155
- 「蓼莪堂の吉雄元吉とその著作について」ヴォルフガング・ミヒェル『医譚』(106) 168–169
- 「歯科外科医シュバリエ・ラスピーニのビジネス(抄)」水谷惟紗久『日本医史学雑誌』55(2) 190
- 「Francois Leuret(1797–1851)の人物と業績について(抄)」小泉明『精神医学史研究』13(1) 72
- 「近代てんかん学の父 William G. Lennox」飯沼一字『てんかんの総合学術誌』3(1) 67
- 「ノーベル生理学・医学賞を受賞した研究者たち 5 オットー・ワールブルク」工藤秀機『大塚薬報』(646) 41–43

41 伝記(双)

- 「日向薬事始(その5)日向出身の緒方洪庵・適塾と広瀬淡窓・咸宜園に学んだ人々」山本郁男, 井本真澄, 宇佐見則行他『九州保健福祉大学研究紀要』(10) 209–216
- 「日向薬事始め(その8)一日向出身の, 小石元瑞

- （京都）および植林鎮山，榮哲（長崎）門下生とその周辺一（抄）」山本郁男，宇佐見則行，程炳鈞，岸信行『薬史学雑誌』44(2)108
- 「スロイスとホルトルマンの基礎医薬学講義（抄）」板垣英治『薬史学雑誌』44(2)103-104
- 「高木兼寛と森田生馬（その2）イギリス医学の源流を，東京慈恵会成立過程から探る 不治の病「脚気」が導き出した不安の時代」中山和彦『東京慈恵会医科大学雑誌』124(6)305-314
- 「独学と謂われている野口英世の研究の道程 北里柴三郎との関連をも含めて（抄）」殿崎正明『医学情報サービス研究大会抄録集26回』12
- 「ニコライをめぐる三人の医師たち」谷澤尚一『北辰』10,4-14
- 「広田弘毅と星一の交遊（抄）」三澤美和『薬史学雑誌』44(2)105
- 「藩閥政治から見た済生学舎廃校の真の原因：山県有朋，池田謙斎，入沢達吉との関係（抄）」殿崎正明，唐澤信安，岩崎一，志村俊郎『日本医史学雑誌』55(2)156
- #### 42 伝染病史・防疫史・感染症史
- 「人類と感染症との闘い「得体の知れないものへの怯え」から「知れて安心」へ（第3回）結核化石人骨から国民病，そして未だに」加藤茂孝『Modern Media』55(12)321-333
- 「ハンセン病療養所における食事用自助具とその歴史（抄）」河野智憲，小田恵美，田原珠美，大腸勇二，濱本和恵『日本ハンセン病学会雑誌』78(2)180
- 「近世後期における「伝染病」学説一「市川橋本伯寿著断毒論一件」の分析を通じて一」香西豊子『日本医史学雑誌』55(4)499-508
- 「戦後占領期における赤痢の流行（抄）」田中誠二，杉田聡，安藤敬子他『日本公衆衛生学会総会抄録集68回』264
- 「戦後占領期におけるマラリア流行の2類型」田中誠二，杉田聡，丸井英二『日本衛生学雑誌』64(1)3-13
- 「【はしか・風疹ワクチン】痘瘡（とうそう）と同じように恐れられた麻疹（はしか）」谷田憲俊『薬のチェックは命のチェック』(34)66-71
- 「明治前半期山口県におけるコレラの流行」田村貞雄『山口県地方史研究』(102)
- 「共慣義塾の研究一東京検梅史の補遺として一」中西淳朗，樋口輝雄『日本医史学雑誌』55(3)347-364
- 「【感染症 予防と治療の実際】インフルエンザの歴史は？ インフルエンザ・パンデミックの歴史について教えてください」西村秀一『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』8(4)553-555
- 「戦前・戦時期大阪におけるハンセン病者の処遇一大阪皮膚病研究所と大阪のハンセン病問題一」廣川和花『大阪の歴史』(72)
- 「ハンセン病の歴史と療養所の未来 人間の尊厳について」福美知宏『病院・地域精神医学』51(4)298-303
- 「ハンセン病の歴史に学ぶ ハンセン病療養所医療100年をふりかえる（抄）」牧野正直『日本ハンセン病学会雑誌』78(2)121
- 「ハンセン病療養所における医療 ハンセン病療養所医療100年をふりかえる（抄）」牧野正直『日本歯周病学会会誌』51(春季特別)86
- 「戦前期ハンセン病療養所における作業制度と患者自治一1932年外島保養院作業改革について一」松岡弘之『大阪の歴史』(72)
- 「【日本におけるコレラ流行報告】について一明治初期の米国人によるコレラ報告一（抄）」松村紀明『日本医史学雑誌』55(2)166
- 「戦時中発疹チフスで倒れた根室の医師たち一牧の内哀歌一」森紫朗『くるまいし』(24)
- 「ハンセン病問題と和歌山県一近代の湯の峰温泉をめぐる」矢野治世美『紀要』(3)
- #### 43 東洋医学史・伝統医学史
- 「歴史的に頻用されてきた処方 越婢加朮湯について（抄）」赤尾清剛『日本東洋医学雑誌』60(別冊)175
- 「江戸の医案を読む（第8回）山田業精『井見集附録』より（その2）秋葉哲生，平馬直樹『伝統医学』12(2)46-52
- 「江戸の医案を読む（第9回）津田玄仙『療治茶談』

- 続編附録より(その1) 秋葉哲生, 平馬直樹『伝統医学』12(3) 158-165
- 【腎の病証】腎の医学 東と西 家本誠一『医道の日本』68(12) 30-36
- 「中国仏教の戒疤と灸」猪飼祥夫『医譚』(106) 40-49
- 「中国仏教の戒疤と灸(抄)」猪飼祥夫『医譚』(106) 159-160
- 「目でみる漢方史料館(247) 漢代の性具」猪飼祥夫『漢方の臨床』56(3) 386-388
- 「漢方医学の潮流(抄)」石野尚吾『日本東洋医学雑誌』60(別冊) 128
- 「薛己の用いた隔物灸(抄)」上田善信『日本医史学雑誌』55(2) 213
- 『「霊枢」はどう伝えられてきたか』浦山きか『経絡治療』(179) 15-30
- 『「霊枢」はどう読まれてきたか(抄)」浦山きか『経絡治療』(176) 16
- 「馬王堆出土『五十二病方』にみられる薬の作り方の意義(抄)」遠藤次郎, 鈴木達彦『日本医史学雑誌』55(2) 188
- 「江戸の医案を読む 特別編 尾台榕堂『方伎雑誌』『井観医言』より」王慶国, 秋葉哲生, 平馬直樹『伝統医学』12(1) 48-54
- 「日中医学交流史43. 年中行事に含まれている医学的意味」郭秀梅『日中医学』24(2) 46-48
- 「鍼灸学校教育の歴史に見る鍼灸の変遷と現況」形井秀一, 箕輪政博『社会鍼灸学研究』(3) 33-36
- 「韓国韓医学の潮流(抄)」金璋顯『日本東洋医学雑誌』60(別冊) 126-127
- 「中国伝統医学における精神医学史(抄)」湖海正尋『精神神経学雑誌』(2009特別) 387
- 「古医書のはなし 古医書にみる漢方の知恵 宇宙(自然)とからだの認識法(一)-(四)」小曾戸洋『漢方と鍼』33(1-2, 4-5) 6-7, 4-5, 5-6, 5-6
- 「目でみる漢方史料館(253) 神農鐔二種」小曾戸洋『漢方の臨床』56(10) 1630-1632
- 「目でみる漢方史料館(250-251) 新出の『医学天正記』異本・『治驗録』(1-2)」小曾戸洋, 天野陽介『漢方の臨床』56(7-8) 1106-1108, 1278-1280
- 『「薬治通義」の研究 中国に及ぼした影響(抄)」小曾戸洋, 天野陽介, 星野卓之他『日本東洋医学雑誌』60(別冊) 264
- 「目でみる漢方史料館(248) 渋江抽斎の墓碑」小曾戸洋, 天野陽介『漢方の臨床』56(5) 786-788
- 「目でみる漢方史料館(252) 新出の浅田宗伯肖像画」小曾戸洋, 天野陽介, 和智明彦『漢方の臨床』56(9) 1454-1456
- 「目でみる漢方史料館(245) 多紀元簡・片倉鶴陵が賛の張仲景像」小曾戸洋ほか『漢方の臨床』56(1) 2-4
- 「「関格」名義変遷攷」小高修司『日本医史学雑誌』55(1) 57-75
- 「延喜式典薬寮雑薬と古代和法の真髓(20, 24)」齋藤匡男『漢方の臨床』56(1, 6) 173-177, 1067-1076
- 「古典研究の中から伝えたいもの 傷寒論精義外伝の臨床応用」佐藤巳代吉『日本東洋医学会雑誌』60(3) 310-317
- 「古代中国医学書に書かれている処方薬についての生産性の観点からみた研究(抄)」塩原仁子, 真下順一『日本薬学会年会要旨集』(4) 337
- 「歴史的に頻用されてきた処方 加味逍遙散(抄)」新谷卓弘『日本東洋医学雑誌』60(別冊) 176
- 『「傷寒論」における煎液の量と服用量に関する問題(抄)」石瑛, 鈴木達彦, 遠藤次郎『日本医史学雑誌』55(2) 187
- 「任脈に関する一考察」孫基然, 山口大輔, 戴昭宇『全日本鍼灸学会雑誌』59(5) 505-516
- 「西遊記と東洋医学(上・中・下)」田中耕一郎, 三浦於菟『漢方の臨床』56(9-11) 1567-1574, 1773-1778, 1943-1949
- 「日中医学交流史41-42. 麻沸散から通仙散まで—漢方麻酔の伝来(上)(下)」陶恵寧『日中医学』23-24(6, 1) 22-26, 36-39
- 【「お灸アラカルト」皮膚と艾の間にあるもの」東郷俊宏『医道の日本』68(3) 30-34
- 「小児鍼の歴史考証を目的とした寺社における「虫封じ」「虫切り」実施調査(抄)」鳥飼佳世,

- 下市善紀，中井一彦他『全日本鍼灸学会雑誌』59(3)447
- 「小児鍼の歴史考証を目的とした寺社における「虫封じ」「虫切り」実施調査」鳥飼佳世，下市善紀，中井一彦，戸村多郎『東洋療法学校協会学会誌』(32)134-137
- 『素問玄機原病式』素問玄機原病式例の研究（抄）中川俊之『日本医史学雑誌』55(2)212
- 「新出の無分流传書『救詳鑑』『針流書』について（抄）」長野仁，大浦宏勝『日本東洋医学雑誌』60(別冊)260
- 「諸流派形成の黎明期「室町時代鍼灸書」の内景図と穴法図「室町時代鍼灸書」について」長野仁『鍼灸Osaka』24(4)471-479,367-370
- 「北宋以前の漢籍に見える『内経』経文（抄）」橋本典子『日本医史学雑誌』55(2)221
- 「王念孫『素問新語易林合韻譜』と錢超塵『素問合韻譜』」林克『日本医史学雑誌』55(3)303-316
- 「江戸期漢方医学の歴史 曲直瀬流から考証医学まで（抄）」町泉寿郎『日本東洋医学雑誌』60(別冊)193
- 「目でみる漢方史料館（254）新出の山田業広自筆『金匱要略攷異』」町泉寿郎『漢方の臨床』56(11)1818-1820
- 「目でみる漢方史料館（255）山田業広『経方辨』稿本」町泉寿郎『漢方の臨床』56(12)2002-2004
- 「目でみる漢方史料館（246）加藤謙齋の肖像—新出」町泉寿郎，小曾戸洋，天野陽介『漢方の臨床』56(2)202-204
- 「山田図南と千金方—千金方から傷寒論序文を考える—（抄）」松岡尚則，山下幸一，栗林秀樹，牧角和宏，岡田研吉，山口秀敏，別府正志『日本医史学雑誌』55(2)186
- 「臺灣書志Ⅱ 國家圖書館（臺北）所蔵の醫藥古典籍（21, 23, 25）」真柳誠『漢方の臨床』56(1, 4, 6)181-185, 755-760, 1071-1076
- 『劉涓子鬼遺方』の鍼灸について（抄）宮川隆弘『日本医史学雑誌』55(2)178
- 「歴史的に頻用されてきた処方 温知堂の頻用処方 清上けん痛湯（抄）」矢数芳英『日本東洋医学雑誌』60(別冊)174
- 「江戸中期の鍼灸における腹部診察と施術について（抄）」山崎陽子『日本医史学雑誌』55(2)220
- 「歴史的に頻用されてきた処方 桂枝加黄耆湯を中心に（抄）」山田享弘『日本東洋医学雑誌』60(別冊)177
- 「資料でたどる あん摩の歴史 日本篇（1）」山本徳子『医道の日本』68(7)169-171
- 「ドキュメンタリー「近代鍼灸史」(7)-(11)」油井富雄『東洋医学鍼灸ジャーナル』69-71, 85-87, 67-69, 89-91, 88-90, 88-90
- 「新修・意訳『東洞先生答問』(20)」横田観風『漢方の臨床』56(6)1060-1065
- 「中国伝統医学と道教（第29回 甲骨文）（抄）Chinese Traditional Medicine & Taoism (29. Jiaguwen)」吉元昭治『日本医史学雑誌』55(2)207
- 「日中医学交流史40. 代替医療の一環—日本のガンサプリメント」魯紅梅『日中医学』23(5)32-36
- 「日中医学交流史44. 古典にみる終末期ケア・看取り」魯紅梅『日中医学』24(3)42-45
- 「目でみる漢方史料館（249）浅田宗伯の診療録」渡辺浩二，和智明彦『漢方の臨床』56(6)970-972

44 内科史

- 「鉄状態の評価 歴史的観点 (Assessment of Iron Status: an Historical Perspective) (英語)」Cavill Ivor『Sysmex Journal International』19(1)7-10
- 「Digest シリーズ 血液の歴史 我国の血液学の歴史（その2）」柴田昭『Medical Science Digest』35(11)438-440
- 「医学史研究 脳卒中の最大危険因子としての高血圧の認識」西村謙一『血圧』16(12)1081-1083
- 「【不整脈】不整脈診療の歴史的変遷」三田村秀雄『Intensivist』1(4)317-322

45 皮膚科史

- 「接触性皮膚炎のガイドライン・職業性皮膚障害

アレルギー性接触皮膚炎 歴史と展望 (Allergic contact Dermatitis: A Historical View and Perspective) (英語) Katz Stephen I. 『日本皮膚科学会雑誌』 119 (4) 557

「足白癬外用療法 practice 皮膚真菌症治療の歴史 特に外用療法を振り返って (抄)」五十棲健 『日本臨床皮膚科医会雑誌』 26 (2) 192

「乾癬の治療 本邦における乾癬の PUVA bath 療法の歴史 日本発の PUVA bath 療法はいかにして行われたか (抄)」猿田隆夫 『日本臨床皮膚科医会雑誌』 26 (2) 181

「江戸時代の医案集に見られる皮膚疾患とその治療 (上) (下)」安井廣迪 『漢方研究』 (447-448) 22-32, 136-147

46 泌尿器科史

「泌尿器癌に対する遺伝子療法 現状と歴史 (Gene therapy for urologic cancers: Now and then) (英語) (抄)」Hsieh Jer-Tsong 『泌尿器外科』 22 (臨増) 253-254

「前立腺について “今と昔” (抄)」吉田和弘 『日本医科大学医学会雑誌』 5 (2) 88-89

47 病院史

「ロンドン外科学史瞥見 旧セント・トーマス病院手術場とガイ病院」佐藤裕 『臨床外科』 64 (6) 799-803

「京都東山の洛東病院の歴史を探る 語られなかった歴史的事実にせまる」永利満雄, 藤本文朗, 渋谷光美 『いのちとくらし研究所報』 (28) 38-47

「老いのたわごと 日本社会精神医学史 (その3) 渡辺栄市の函館有床精神科診療所 (1945-1950) について (息子渡辺博との対話) (1)」浜田晋 『精神医療』 (54) 126-132

「歴史に見る精神障がい者の処遇鹿児島県立病院の場合」東中須恵子 『看護学統合研究』 10 (2) 59-63

「兵庫県一地方における精神病院の成り立ち (抄)」三浦藍, 植本雅治, 石井敏樹 『日本社会精神医学雑誌』 18 (1) 131-132

「ロイヤル・ロンドン病院の創設と発展 (抄)」柳澤波香 『日本医史学雑誌』 55 (2) 193

48 病跡学

「我が国における病跡学の歴史 戦前編」高橋正雄 『日本病跡学雑誌』 (77) 4-26

49 病理学史

「日本の病理学の黎明期を探る」井村穰二 『病理と臨床』 27 (4) 404-405

「胃癌診療の歴史 胃切除術の黎明期 ビルロートと病理学」岡島邦雄 『胃がん』 2 (1) 67-69

「胃癌診療の歴史 病理学の歴史 ビルロートの時代にいたるまで」岡島邦雄 『胃がん』 2 (2) 141-145

「癌病理学の金字塔 今井の〈癌のCPL分類〉再訪」住吉昭信 『ミクروسコピア』 26 (4) 293-297

「病理最前線 病理学の歴史から診断の重要性を見る」長村義之 『医と食』 1 (4) 170-171

「歴史を楽しむ 近代医療を支えるものは何か 病理学の誕生 (前編)」森昌彦 『歯科医療』 23 (4) 147-159

50 風俗史

「『女性医師』を着衣から考える—江戸から明治初め」太田妙子 『医譚』 (106) 101-112

「壽木について (抄)」上瀉口武, 小林繁 『日本歯科医史学会々誌』 28 (2) 107-109

「絵馬信仰 (抄)」新藤恵久 『日本歯科医史学会々誌』 28 (2) 127

「江戸風俗に按摩師の技を描いた葛飾北斎」長谷川尚哉 『医道の日本』 68 (12) 135-143

「京都・東寺の夜叉神堂の民間信仰について (抄)」湯浅高行, 藤野瑠男, 屋代正幸 『日本歯科医史学会々誌』 28 (2) 129

51 仏教医学史

「比丘の食事 (抄)」井上綾瀬 『医譚』 (106) 160-161

「仏教における外科疾患」杉田暉道 『日本医史学雑誌』 55 (3) 369-370

「仏教における内科疾患」杉田暉道『日本医史学雑誌』55(3) 365-367

「仏教文献に見られる呪術的療法の伝統について—概説—」山中行雄，山下勤『日本医史学雑誌』55(1) 77-96

52 法医学史

「トルコにおける法医学の歴史（History of forensic medicine in Turkey）（英語）」Oguz Polat『Legal Medicine』11(3) 107-110

「法医学におけるDNA型鑑定 of の歴史」押田茂實，鉄堅，岩上悦子『日大医学雑誌』68(5) 278-283

53 放射線医学史

「X線単純撮影技術セミナー「X線単純撮影技術シリーズ」X線単純撮影技術の開発とその変遷研究開発とその後の対応(3)」川村義彦『日本放射線技師会雑誌』56(7) 801-817

「放射線生物作用の初期過程 放射線生物作用のスタートポイント DNA 損傷の再認識 DNA 放射線分解研究の歴史的展望(抄)」山本修『日本放射線影響学会大会講演要旨集52回』71

54 本草学史・博物学史

「愋齋が描き，記録したアフリカハマユウ」坂崎信之『愋齋研究会だより』119, 1-7

「杏雨書屋の三十年」『水谷本草』とアジアの進化論 宮下三郎『杏雨』(12) 166-175

55 麻酔学史

「文政7年(1824)佐賀における麻酔手術—華岡門人 井上友庵の事例—(抄)」青木歳幸『日本医史学雑誌』55(2) 149

「エーテル麻酔創始者の一人である W. T. G. Morton 救済のための寄付に関わる小冊子 “PROCEEDINGS IN BEHALF OF THE MORTON TESTIMONIAL” について(その1)」石橋肇，渋谷敏，谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』28(1) 30-33

「エーテル麻酔創始者の一人である W. T. G. Morton 救済のための寄付に関わる小冊子 “PROCEEDINGS IN BEHALF OF THE MORTON TESTIMO-

NIAL” について(その2)」加來洋子，石橋肇，渋谷敏『日本歯科医史学会々誌』28(2) 167-176

「神経麻酔の歴史と将来」坂部武史『麻酔』58(増刊号) 189-200

「亜酸化窒素は歴史的役割を終えたか?(抄)」藤井裕人，佐々木俊郎，柴田俊成他『麻酔』58(9) 1188-1189

57 薬学史

「経口抗癌剤 S-1 (TS-1) の開発の歴史と概念 その臨床的有用性と将来展望 (Development History and Concept of an Oral Anticancer Agent S-1 (TS-1): Its Clinical Usefulness and Future Vistas) (英語)」Shirasaka Tetsuhiko『Japanese Journal of Clinical Oncology』39(1) 2-15

「向精神作用を有する茸の歴史的概観 (Historical overview of psychoactive mushrooms) (英語)」Matsushima Yoshihiro, Eguchi Fumio, Kikukawa Tadahiro, Matsuda Takahide『Inflammation and Regeneration』29(1) 47-58

「世界におけるレニンの歴史 アリスキレン開発の変遷 (Renin History in the World: Transition for Development of Aliskiren)」Keefe Deborah『Therapeutic Research』30(11) 1830-1831

「微生物薬の発見 進歩の80年 (Microbial drug discovery: 80 years of progress) (英語)」Demain Arnold L., Sanchez Sergio『The Journal of Antibiotics』62(1) 5-16

「近代以後日韓薬学交流史研究—日本政府招請国費留学生を中心に—」沈昌求，孫一善，崔應七，南始希，成倫慶，津谷喜一郎『薬史学雑誌』44(1) 24-30

「正倉院薬物「冶葛(やかた)」について(抄)」相見則郎『薬史学雑誌』44(2) 80

「日本における薬剤経済学評価の歴史：臨床試験から使用実績調査まで(抄)」赤沢学，木村和子，五十嵐中，津谷喜一郎『薬史学雑誌』44(2) 117

「わが国のアミノ酸系医薬品開発50年の変遷(その2)—アミノ酸誘導体・非天然型アミノ酸製剤—(抄)」荒井裕美子，松本和男『薬史学雑誌』44(2) 118

- 「平成21年度改正薬事法と薬局の取り巻く環境の変化—薬律の制定から薬事法改正にいたる背景と薬局業務の変遷について—(抄)」有澤賢二『薬史学雑誌』44(2)83
- 「『写真で見る韓国近現代医療文化史 1879-1960』中の薬学史についての記載(抄)」石田純郎『薬史学雑誌』44(2)115
- 「理礼氏薬物学(第十一巻)にみる薬物(抄)」大垣旭, 小松知貴, 島和嗣他『日本薬学会年会要旨集』(4)338
- 「The クスリ For the People 創薬の進歩」岡崎靖『社会保険旬報』(2395)18-19
- 「続 楽しい薬理学 インスリンの発見」岡部進『薬局』60(2)354-358
- 「続 楽しい薬理学 胃プロトンポンプ阻害薬の発見」岡部進『薬局』60(5)2479-2483
- 「続 楽しい薬理学 渡米した2人の若者」岡部進『薬局』60(7)2807-2810
- 「続 楽しい薬理学 薬理学の「理」とは」岡部進『薬局』60(9)3177-3181
- 「続 楽しい薬理学 「インド蛇木」伝説」岡部進『薬局』60(11)3486-3491
- 「【翻刻資料】一東視究録 製薬 上」鶴寿軒 薫(花押)『薬史学雑誌』44(2)98-102
- 「薬のできるまで(第10回)最も歴史の長いくすり? その名はモルヒネ」影向範昭『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』8(6)917-920
- 「ケンペルの描いた「蘭人御覧」の部屋はどこか」片桐一男『日本歴史』(731)96-105
- 「薬と倫理学」加藤尚武『薬史学雑誌』44(1-2)3-4, 49-55
- 「日本における薬剤師教育の祖・藤田正方をめぐって(抄)」川瀬清『薬史学雑誌』44(2)114
- 「感染症医史 ペニシリンの開発とわが国への伝来」木村丹『感染と抗菌薬』12(1)84-86
- 「【インクレチンをめぐる新知見】インクレチンの概念と研究の歴史」清野裕『糖尿病』52(6)415-417
- 「理礼氏薬物学(第十二巻)にみる薬物(抄)」久保光平, 大垣旭, 小松知貴他『日本薬学会年会要旨集』(4)338
- 「抗アレルギー薬の歴史 抗ヒスタミン薬開発の歴史」黒沢元博, 湯川龍雄『喘息』22(1)89-97
- 「昭和時代の日本漫画「サザエさん」に登場する医薬品と薬学関連事項」五位野政彦『薬史学雑誌』44(1)38-43
- 「病院医薬品集(hospital formulary)として使用された『軍医寮局方』とその背景」五位野政彦『東京都病院薬剤師会雑誌』58(2)93-95
- 「【抗不安薬】抗不安薬開発の歴史」越野好文『最新精神医学』14(6)513-518
- 「明治期理礼氏薬物と家畜医範の薬物比較(抄)」小松知貴, 大垣旭, 島和嗣他『日本薬学会年会要旨集』(4)337
- 「理礼氏薬物学(第十五巻)にみる薬物(抄)」小松直登, 西野ゆり, 林優樹他『日本薬学会年会要旨集』(4)338
- 「【更年期障害】逍遙散 歴代医書を通しての考察」坂本壮一郎『東医学研究』(130)16-28
- 「抗アレルギー薬の歴史 ロイコトリエン受容体拮抗薬の抗炎症薬としての歴史と今後の展望」相良博典, 湯川龍雄, 黒沢元博『喘息』22(2)199-204
- 「日本のドラッグストアの歴史に関する一考察—医薬品販売の面から—(抄)」佐藤知樹, 伊藤裕至, 長井貴之『薬史学雑誌』44(2)111
- 「理礼氏薬物学(第十六巻)にみる薬物(抄)」澤田采佳, 島和嗣, 畠山貴博他『日本薬学会年会要旨集』(4)339
- 「中世における日本文化発祥への嗜好性飲料(茶)の薬理的役割」杉山茂『薬史学雑誌』44(1)5-9
- 「『伝統薬に光』~アメリカで進む植物性医薬品(Botanical Drug)について~(抄)」鈴木信孝『薬史学雑誌』44(2)123
- 「筋弛緩薬の変遷—発見から臨床応用までの140年を追って—(抄)」高田敦子『日本医史学雑誌』55(2)173
- 「医薬品再評価の歴史(抄)」高橋春男『薬史学雑誌』44(2)107
- 「医薬品による副作用, 被害救済と安全対策の歴史」高橋春男『薬史学雑誌』44(2)64-70
- 「薄荷脳(メントール)の薬香としての使用の変

- 遷（抄）多胡彰郎，柴田有里，宮崎啓一，松本和男『薬史学雑誌』44(2)113
- 「医薬品の温故知新 徳川家にクスリのルーツを採る」徳川斉正，高橋真也『PHARM TECH JAPAN』25(14)2785-2787
- 「日本へのキナ導入の足跡をたどる」南雲精二『薬史学雑誌』44(1)1-2
- 「古代インドの薬学史-I（抄）」夏目葉子『薬史学雑誌』44(2)116
- 「「無名異」再考：御献上無名異と「見宜堂古林正貞先生 醫學入門本草（写本）」（抄）」成田研一『薬史学雑誌』44(2)112
- 「【ステロイド療法の実際】ステロイドの基礎 ステロイドの歴史」名和田新『Modern Physician』29(5)560-562
- 「ステロイドの使い方 ステロイドの歴史と今後の展望」名和田新『日本医師会雑誌』138(1)86-87
- 「動物の生理学クロニクル セロトニン物語」西田利穂『SA Medicine』11(2)78-81
- 「動物の生理学クロニクル ドーパミン物語」西田利穂『SA Medicine』11(3)83-86
- 「動物の生理学クロニクル ANPとグレリン物語」西田利穂『SA Medicine』11(4)86-89
- 「動物の生理学クロニクル 腎臓物語」西田利穂『SA Medicine』11(5)83-86
- 「理札氏薬物学（第十四巻）にみる薬物（抄）」西野正雄，島和嗣，久保光平他『日本薬学会年会要旨集』（4）338
- 「理札氏薬物学（第十七巻）にみる薬物（抄）」西野ゆり，島和嗣，久保光平他『日本薬学会年会要旨集』（4）339
- 「【直接的レニン阻害薬の展望】直接的レニン阻害薬開発の歴史」日和田邦男『血圧』16(12)1039-1042
- 「世界におけるレニンの歴史 日本におけるレニンの歴史（Renin History in the World: Renin History in Japan）」日和田邦男『Therapeutic Research』30(11)1827-1829
- 「大和当帰の栽培生産の歴史と現状」福田浩三，村田和也，松田秀秋，谿忠人『薬史学雑誌』44(1)10-17
- 「薬箱に保存されている生薬「滑石」の原鉱物について（抄）」伏見裕利，（故）中村輝子，太田真裕，伏谷眞二，小松かつ子『薬史学雑誌』44(2)121
- 「大阪道修町における試薬業界の変遷—試薬業の黎明について—（抄）」宮崎啓一，宮本義夫，三島佑一『薬史学雑誌』44(2)109-110
- 「理札氏薬物学（第十三巻）にみる薬物（抄）」宮本如奈，島和嗣，久保光平他『日本薬学会年会要旨集』（4）338
- 「【抗てんかん薬】抗てんかん薬 開発と歴史」八木和一『最新精神医学』14(4)313-317
- 「歴史を変えた薬剤 Ca拮抗薬ジルチアゼム」泰江弘文『Cardiac Practice』20(4)332-333
- 「星一によるわが国初のキニーネ製造と輸出事業（II）キニーネと世界情勢（抄）」山朝江，三澤美和『薬史学雑誌』44(2)82
- 「日本の薬学，薬剤師教育の150年—過去・現代・未来—（抄）」山川浩司『薬史学雑誌』44(2)88-94
- 「日本の製造法特許時代における医薬品特許軽装裁判についての体験的研究」山川浩司，西谷潔『薬史学雑誌』44(2)71-78
- 「北海道の薬草栽培の歴史から生薬資源を考える（抄）」山岸喬『The Journal of Traditional Medicines』26(Suppl.)133
- 「日向薬（ひゅうがくすり）事始（その7）延岡における医学所「明道館」の設立と藩士教育（抄）」山本郁男，井本真澄，宇佐見則行他『日本薬学会年会要旨集』（4）337
- 「人と薬の羅針盤⑩ ギリシアとギリシア神話の神々」吉岡ゆうこ，城戸真由美『大塚薬報』（642）28-31
- 「人と薬の羅針盤⑪ アスクレピオスと医学のシンボル」吉岡ゆうこ，城戸真由美『大塚薬報』（643）22-25
- 「人と薬の羅針盤⑫ アスクレピオスの聖域・エピダウロス」吉岡ゆうこ，城戸真由美『大塚薬報』（644）24-27
- 「人と薬の羅針盤⑬ 古代都市コリントスとその遺跡」吉岡ゆうこ，城戸真由美『大塚薬報』

- (645) 26-29
「人と葉の羅針盤⑮ アクロポリスのアスクレピオン」吉岡ゆうこ, 城戸真由美『大塚薬報』(646) 22-25
- 「人と葉の羅針盤⑯ エーゲ海のコス島とアスクレピオン」吉岡ゆうこ, 城戸真由美『大塚薬報』(647) 24-27
- 「人と葉の羅針盤⑰ コス島と医聖ヒポクラテス」吉岡ゆうこ, 城戸真由美『大塚薬報』(648) 24-27
- 「人と葉の羅針盤⑱ 都市国家ポリスの生活」吉岡ゆうこ, 城戸真由美『大塚薬報』(649) 22-25
- 「人と葉の羅針盤⑲ 古代オリンピックとアスリート達」吉岡ゆうこ, 城戸真由美『大塚薬報』(650) 24-27
- 「人と葉の羅針盤⑳ 古代ギリシアの美と健康」吉岡ゆうこ, 城戸真由美『大塚薬報』(651) 24-27
- 「日本発世界のくすり 全身吸入麻酔剤セボフレン(セボフルラン)の歴史」吉田健一, 寺谷祐一『医療』63(3) 209-210
- 58 蘭学史**
- 「江戸時代, 温泉水の化学分析の進展について(抄)」大沢眞澄『日本医史学雑誌』55(2) 143
- 「整形外科と蘭学 杉田玄白と解体新書(その1)」川瀧眞人『臨床整形外科』44(3) 288-290
- 「蘭学における「コンストカビネット」について」八百啓介『洋学史研究』(26) 27-44
- 59 リハビリテーション関係史**
- 「わが国への「リハビリテーション」導入の歴史 河崎学園での歩みとともに」浅野達雄『大阪河崎リハビリテーション大学紀要』3(2) 1-2
- 「【精神疾患周辺的生活障害者のリハビリテーション】精神科リハビリテーションの歴史と現状」五十嵐善雄『地域リハビリテーション』4(2) 112-116
- 「【転倒・転落をめぐって】転倒学の歴史と現状」江藤文夫『日本医師会雑誌』137(11) 2249-2253
- 「【働くことの意義と支援】職業リハビリテーションの概念 職業リハビリテーションとOTの関わり 歴史的流れを踏まえて」菊池恵美子『作業療法ジャーナル』43(7) 682-685
- 「摂食・嚥下リハビリテーションの歴史と未来(抄)」才藤栄一『日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌』13(3) 247
- 「地方都市精神病院における作業療法の草分け(大正初期における七山病院のとりくみ)(抄)」鈴木英鷹『精神神経学雑誌』(2009 特別) 505
- 「我が国における作業療法の草分け(大正初期における七山病院のとりくみ)(抄)」鈴木英鷹, 本多義治, 本多秀治『精神医学史研究』13(1) 74-75
- 「作業療法の現代史・1965-1975 医療職化と独自性のはざままで(抄)」田島明子『保健医療社会学論集』20(特別) 66
- 「東京病院附属リハビリテーション学院の歴史に関する研究 我が国初のPT・OT養成校の開設とその教育(抄)」中村信一『リハビリテーション連携科学』10(1) 46-47
- 「理学療法教育の歴史的変遷」森永敏博『四條畷学園大学リハビリテーション学部紀要』(4) 11-17
- 「言語聴覚士養成課程における現代史教育の必要性 自伝的記憶の活用のために」山口信, 松原慶吾『柳川リハビリテーション学院・福岡国際医療福祉学院紀要』5, 38-45
- 60 検査**
- 「群馬県学校心臓病検診の歴史と現状(抄)」曾根克彦『日本小児循環器学会雑誌』25(5) 695
- 「二〇世紀初頭の京都衛生検査所医学講習会について」廣谷速人『医譚』(107) 22-34
- 「アディポネクチン発見の歴史と臨床応用への展望」松澤佑次『住友病院医学雑誌』(36) 1-9
- 「日本の乳癌検診の歴史と課題」森本忠興『日本乳癌検診学雑誌』18(3) 211-231
- 「我が国における自動細菌検査装置の歴史 Auto Microbic System (AMS) から30年」山根誠久『Sysmex Journal』32, 74-87
- 61 その他**
- 「【タバコとアルコール その似て非なるところ】

- アルコールと人間の歴史 人間に与えたタバコのインパクト」東桂子『糖尿病診療マスター』7(6) 527-531
- 「臨床細胞遺伝学」池田俊郎『日本産科婦人科学会鹿児島地方部会雑誌』17, 8-12
- 「愛仁会におけるIT化の歴史」石井博茂，清水栄一，井関一高他『愛仁会医学研究誌』40, 39-44
- 「脂質栄養学の過去，現在，将来への展望（抄）」奥山治美『脂質栄養学』18(2) 143
- 「ゲノムの地理と歴史 非コード領域の生物学的機能」香川弘昭，板東哲哉，高島康郎『生物物理』49(5) 246-249
- 「【タバコとアルコール その似て非なるところ】アルコールと人間の歴史 日本人にとってのお酒は？」熊倉功夫『糖尿病診療マスター』7(6) 537-539
- 「【タバコとアルコール その似て非なるところ】アルコールと人間の歴史 お酒のはじまり」小泉武夫『糖尿病診療マスター』7(6) 533-536
- 「『参考資料編』フォト・モニュメント日露戦争—北播磨の一八基—解題—モニュメント愚考—」西山勝仁『北播磨探史研究会報』5, 8-12
- 「スイスの医学書出版社 S. Karger AG の歴史」村西洋三『ほすびたる らいぶらりあん』34(2) 116-119
- 62 中国語文献**
- 「努力把本刊辦得更好」本刊編輯部『中華医史雜誌』39(1) 3
- 「秦統一前後的医事制度」鄭懷林『中華医史雜誌』39(1) 4-7
- 「從漢画像石庖厨圖談漢代飲食烹飪狀況」楊金萍『中華医史雜誌』39(1) 8-13
- 「清朝衛生法制特点浅析」劉聰・梁峻・閻曉寧『中華医史雜誌』39(1) 14-16
- 「藥用黃精種質的變遷」程銘恩・王德群『中華医史雜誌』39(1) 17-20
- 「方劑配合中君藥的演變」袁冰・石東平『中華医史雜誌』39(1) 21-24
- 「『文化大革命』期間中草藥運動特点及表現形式」張衛・張瑞賢『中華医史雜誌』39(1) 25-29
- 「心肺復蘇術の歴史回顧」付徳明・鄭建中・郭政『中華医史雜誌』39(1) 30-38
- 「対多器官功能障礙綜合症的認識与命名」李春雨・賈晉太『中華医史雜誌』39(1) 39-43
- 「『寶太師針經』伝本及構成考」黄幼民・黄龍祥『中華医史雜誌』39(1) 44-47
- 「『医学切要』托名傅山考」張玲『中華医史雜誌』39(1) 48-51
- 「美国細菌学家梅耶博士」李崢・李志平『中華医史雜誌』39(1) 50-53
- 「張志斌『中国古代疾病流行年表』評介」孟慶雲『中華医史雜誌』39(1) 52-53
- 「陝甘寧辺区防疫委員会防字第一号布告」錢俊英・任古城『中華医史雜誌』39(1) 54-55
- 「日本食物本草学專著『本朝食鑑』」周敏『中華医史雜誌』39(1) 56-58
- 「『景岳全書』中的臨床療効評価」李君・劉保延『中華医史雜誌』39(1) 59-61
- 「20世紀30年代上海公共租界中外人士病亡考察」朱徳明『中華医史雜誌』39(1) 29
- 「中華中医藥学会第11届全国中医医史文献学术會議紀要」田思勝・戴銘『中華医史雜誌』39(1) 43
- 「中華医学会医史学分会第12届1次学术年会會議紀要」蘭台『中華医史雜誌』39(1) 62
- 「水腫的一種称谓—「白河」」朱建平『中華医史雜誌』39(1) 58
- 「医学史与医史学」專家筆談『中華医史雜誌』39(2) 67-72
- 「砭石類型与形制新探」伍秋鵬『中華医史雜誌』39(2) 73-81
- 「北宋太医学考述」鄭洪『中華医史雜誌』39(2) 82-86
- 「古代保健飲品相關名目考」蘇諾『中華医史雜誌』39(2) 87-89
- 「中国古代牙病防治概述」趙瑋・趙琪『中華医史雜誌』39(2) 90-92
- 「体外受精—胚胎移植技術的建立及其衍生技術的發展」尚欣妹・李志平『中華医史雜誌』39(2) 93-99
- 「介入医学の歴史回顧」王子軒・陳峰『中華医史雜誌』39(2) 100-103

- 「彪石頑与『臨床日記』」周祖亮・梁海濤・戴銘『中華医史雜誌』39(2)104-107
- 「王燾医事考」宋珍民『中華医史雜誌』39(2)108-111
- 「毛澤東関于西医学習中医重要批示的背景与影響」王振瑞『中華医史雜誌』39(2)112-116
- 「『点石齋画報』中的兩幅尸体解剖圖」張孫彪・林楠『中華医史雜誌』39(2)117-119
- 「『中医学思想史』評介」甄志亜『中華医史雜誌』39(2)126-128
- 「先秦时期中医美容概述」李瑤『中華医史雜誌』39(2)120-123
- 「具有性伏邪說的特点」王柳青『中華医史雜誌』39(2)124-125
- 「杜文燮『藥鑑』淺識」黃斌『中華医史雜誌』39(2)86
- 「『宋以前医籍考』著録『注解傷寒論』版本訛誤一則」李玉清『中華医史雜誌』39(2)99
- 「2009年国际医学史学会動態五則」胡俊『中華医史雜誌』39(2)72
- 「医学史与医史学」專家筆談『中華医史雜誌』39(3)131-135
- 「伏爾泰「論種痘」及蒙塔古夫人伝種人痘于英国史料辨誤」Alicia Crant・馬伯英『中華医史雜誌』39(3)136-143
- 「近代西医在中日两国伝播之比較」劉遠明『中華医史雜誌』39(3)144-149
- 「近代寧波仁澤医院」谷雪梅『中華医史雜誌』39(3)150-153
- 「近代中医对烈性霍乱的認識与定名」吳文清『中華医史雜誌』39(3)154-158
- 「中医「中風」概念的演變」趙正孝・吳婭娜・彭堅『中華医史雜誌』39(3)159-163
- 「古今中藥性味不統一的原因探討」張効霞・王振国『中華医史雜誌』39(3)164-167
- 「海洋中藥發展源流初探」付先軍・管華詩・吳強明等『中華医史雜誌』39(3)168-172
- 「繆刺考」王欣『中華医史雜誌』39(3)173-174
- 「從羊搔痒症到瘋牛病—朊病毒發現史」劉銳・翁屹『中華医史雜誌』39(3)175-177
- 「門靜脈高压症的歷史回顧」呂雲福・宮曉光・李新秋等『中華医史雜誌』39(3)178-181
- 「『千頃堂書目・医家類』辨証」楊東方『中華医史雜誌』39(3)182-186
- 「『東医宝鑑』与『万病回春』方剂內容的初步比較分析」姜赫俊・朱建平『中華医史雜誌』39(3)187-188
- 「『黄帝内經』形体学說雜議」何婧琳『中華医史雜誌』39(3)189-192
- 「意大利帕維亞大学及其培養的著名生物学家和医学家」唐文娟『中華医史雜誌』39(3)封三
- 「『種痘小引』对人痘接種術的記述」鍾鏞・姚麗群・耿海玉『中華医史雜誌』39(3)135
- 「日本医史学家，漢方医学家大塚恭男先生逝世」簡訊『中華医史雜誌』39(3)143
- 「先秦兩漢时期吐納的起源与發展」楊雪梅・李德杏『中華医史雜誌』39(4)195-199
- 「18世紀土耳其人接種人痘麼？—医学跨文化伝通錯位典例分析」Alicia Grant『中華医史雜誌』39(4)200-205
- 「温州白累德医院的創建与發展」金曉冬・謝紅莉『中華医史雜誌』39(4)206-208
- 「木瓜属3種藥用植物中文名考証」彭華勝・王德群『中華医史雜誌』39(4)209-213
- 「痺病相關病名及病因病機学說的演變」戴劍華・石英傑・殷海波等『中華医史雜誌』39(4)214-217
- 「從民国期刊文献看当时中医診法的特点」胡曉峰・李洪曉『中華医史雜誌』39(4)218-221
- 「嶺南医学史教研的幾個問題」劉小斌『中華医史雜誌』39(4)222-225
- 「肺結核病發現策略的沿革」石俊仕・張慧敏・鄭德明等『中華医史雜誌』39(4)226-228
- 「降糖藥發現過程回顧」叶愛嬌『中華医史雜誌』39(4)229-231
- 「『傳青主女科』辨偽」錢超塵『中華医史雜誌』39(4)232-240
- 「清末民初台湾名中医黃玉階」肖林榕・張永賢『中華医史雜誌』39(4)241-243
- 「『大全本草』版本研究」李健・張衛・張瑞賢『中華医史雜誌』39(4)244-249
- 「丁其譽『寿世秘典』的養生觀點」張燕潔『中華医史雜誌』39(4)250-252

- 「部分方志晚清藥市記載簡析」張燕妮『中華医史雜誌』39(4) 253-254
- 「『風秘』出處考」張海鵬・陳潤花『中華医史雜誌』39(4) 256
- 「『近代中医界重大創新之研究』出版」白茅『中華医史雜誌』39(4) 243
- 「王、伍『中国医史』影印出版」李經緯『中華医史雜誌』39(4) 255
- 「韓啓德序『中国医史』再版」韓啓德『中華医史雜誌』39(5) 259-260
- 「理念先導的革命：美国 Flexner 医学教育改革分析」張艷榮，李志平『中華医史雜誌』39(5) 261-265
- 「近代中医学校教育興起的原因及背景」楊文劫・黃瑛・李潔『中華医史雜誌』39(5) 266-269
- 「台湾中医大学教育及考試制度現狀」周珮琪・林昭庚『中華医史雜誌』39(5) 270-272
- 「中国医藥衛生文物述要」廖果『中華医史雜誌』39(5) 273-275
- 「胡美与雅礼会」馬光霞・馮向飛『中華医史雜誌』39(5) 276-281
- 「儒医平議」李健祥『中華医史雜誌』39(5) 282-287
- 「損益思想与針刺補寫」張樹劍・趙京生『中華医史雜誌』39(5) 288-290
- 「『上病下取』考」王宝華・張媛媛『中華医史雜誌』39(5) 291-293
- 「麻酔一詞的來歷和含義演變」李春雨・郭斌・賈晉太『中華医史雜誌』39(5) 294-298
- 「病人安全基本理念及其沿革」段玉蓉・張鳴明・艾昌林『中華医史雜誌』39(5) 299-302
- 「20 世紀 50 年代的獻方運動」張瑞賢・張衛『中華医史雜誌』39(5) 303-307
- 「『達生篇』作者考」孟慶雲『中華医史雜誌』39(5) 308-309
- 「『重広補注黄帝内經素問』所用底本考」劉玉賢『中華医史雜誌』39(5) 310-315
- 「『医学原始』与日本解剖学訳著『重訂解体新書』」牛亞華『中華医史雜誌』39(5) 316-319
- 「王西林与『温病指南』」任旭『中華医史雜誌』39(5) 320
- 「『傷寒論』「陽氣重故也」小議」蘭台『中華医史雜誌』39(5) 265
- 「帕雷的外科学定律」王小健・蘇雲星『中華医史雜誌』39(5) 269
- 「人類健康理念國際論壇—第四届國際医史学大会紀要」會議紀要『中華医史雜誌』39(5) 封三
- 「中国医史博物館開館」劉学春・国華『中華医史雜誌』39(5) 315
- 「『清宫医案集成』出版」蘭台『中華医史雜誌』39(5) 272
- 「新中国成立初期的農村聯合診所」李德成・金緒忠『中華医史雜誌』39(6) 323-326
- 「中国「赤脚医生」始末」張瑞賢・張衛『中華医史雜誌』39(6) 327-330
- 「中国農村合作医療制度沿革」蔡天新『中華医史雜誌』39(6) 331-337
- 「中国歷史上的農村濟貧与医療救助」陳文賢・李寧秀・任曉輝『中華医史雜誌』39(6) 338-342
- 「康熙帝『庭訓格言』的養生思想」韋澤『中華医史雜誌』39(6) 343-346
- 「中医学術史研究中「過度全釈」的原因」張海鵬・陳潤花『中華医史雜誌』39(6) 347-348
- 「牙齒及口腔頷面部解剖学的演進」龔怡『中華医史雜誌』39(6) 349-352
- 「橈骨頭假体置換治療橈骨頭骨折簡史」周智勇・趙学琴・張樹棟等『中華医史雜誌』39(6) 353-356
- 「『金匱要略』的成書与現存版本問題」真柳誠・梁永宣・段逸山等『中華医史雜誌』39(6) 357-363
- 「『采艾編』与『采艾編翼』作者考辨」李会敏・董尚朴『中華医史雜誌』39(6) 364-366
- 「『勿聽子俗解八十一難經』學術價值淺探」鄧月娥・彭榕華・劉德榮『中華医史雜誌』39(6) 367-370
- 「方導生平及其『方氏家藏集要方』考」傅建忠『中華医史雜誌』39(6) 371-374
- 「漫漫医学路，筆耕 50 年—紀念岡西為人博士誕生 110 周年」郭秀梅『中華医史雜誌』39(6) 375-382
- 「中国古人關於經絡認識的發展」封一平・孟竟壁『中華医史雜誌』39(6) 342
- 「半夏炮制方法及其現代研究」何榮傑・刁統美『中華医史雜誌』39(6) 346
- 「孫一奎生卒年考」張一群『中華医史雜誌』39(6) 337

- 「徳貞伝：一個英国伝教士与晚清医学近代化」出版」出版消息『中華医史雜誌』39 (6) 352
- 「元鄧珍本〈新編金匱方論〉校注」出版」出版消息『中華医史雜誌』39 (6) 366
- 「首届全国膏方理論与臨床应用學術研討会暨膏方应用与制作培訓班紀要」顧植山『中華医史雜誌』39 (6) 370

64 歐文文献

- ARNOLD, David: Diabetes in the Tropics: Race, Place and Class in India, 1880–1965: *So. Hist. Med.*: 22 (2) 245–262
- ASEN, Daniel: ‘Manchu Anatomy’: Anatomical Knowledge and the Jesuits in Seventeenth and Eighteenth-Century China: *So. Hist. Med.*: 22 (1) 23–44
- BARFOOT, Michael: The 1815 Act to Regulate Madhouses in Scotland: A Reinterpretation: *Medical History*: 53 (1) 57–76
- BARFOOT, Michael: David Skae: Resident Asylum Physician; Scientific General Practitioner of Insanity: *Medical History*: 53 (4) 469–488
- BASTOS, Cristiana: Borrowing, Adapting, and Learning the Practices of Smallpox: Notes from Colonial Goa: *Bull. Hist. Med.*: 83 (1) 141–163
- BENNETT, Michael J.: Smallpox and Cowpox under the Southern Cross: The Smallpox Epidemic of 1789 and the Advent of Vaccination in Colonial Australia: *Bull. Hist. Med.*: 83 (1) 37–62
- BERTOMEU-SANCHEZ, Jose Ramon: Popularizing Controversial Science: A Popular Treatise on Poisons by Mateu Orfila (1818): *Medical History*: 53 (3) 351–378
- BHATTACHARYA, S. / BRIMNES, N.: Introduction: Simultaneously Global and Local: Reassessing Smallpox Vaccination and Its Spread, 1789–1900: *Bull. Hist. Med.*: 83 (1) 1–16
- BONDIO, Mariacarla Gadebusch: Daedalus sive mechanicus-Automaten und Maschinen an der Schnittstelle zwischen Mechanik und Medizin: *Sudhoffs Archiv*: 93 (1) 4–25
- BOSTER, Dea H.: An “Epeleptick” Bondswoman: Fits, Slavery, and Power in the Antebellum South: *Bull. Hist. Med.*: 83 (2) 271–301
- BU, Liping: Public Health and Modernisation: The First Campaigns in China, 1915–1916: *So. Hist. Med.*: 22 (2) 305–320
- CARTER, Eric D.: “God Bless General Peron”: DDT and the Endgame of Malaria Eradication in Argentina in the 1940s: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 64 (1) 78–122
- CHAMBERLAND, Celeste: Honor, Brotherhood, and the Corporate Ethos of London’s Barber-Surgeons’ Company, 1570–1640: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 64 (3) 300–332
- CHRISTIANSEN, John: The English Sweat in Lubeck and North Germany, 1529: *Medical History*: 53 (3) 415–424
- COLLINS, Kenneth: European Refugee Physicians in Scotland, 1933–1945: *So. Hist. Med.*: 22 (3) 513–530
- CONDRAU, F. / WORBOYS, M.: Epidemics and Infections in Nineteenth-Century Britain: *So. Hist. Med.*: 22 (1) 165–172
- CORFIELD, Penelope J.: From Poison Peddlers to Civic Worthies: The Reputation of the Apothecaries in Georgian England: *So. Hist. Med.*: 22 (1) 1–22
- CRAIK, E. M.: Hippocratic Bodily “Channels” and Oriental Parallels: *Medical History*: 53 (1) 105–116
- CROZIER, Anna: What Was Tropical about Tropical Neurasthenia? The Utility of the Diagnosis in the Management of British East Africa: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 64 (4) 518–548
- DIX, Robin: A Newly Discovered Manuscript Dedication by Mark Akenside: *Medical History*: 53 (3) 425–432
- DOYLE, Dennis: “A Fine New Child”: The Lafargue Mental Hygiene Clinic and Harlem’s African American Communities, 1946–1958: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 64 (2) 173–212
- DOYLE, Dennis: “Where the Need is Greatest”: Social Psychiatry and Race-Blind Universalism in Harlem’s Lafargue Clinic, 1946–1958: *Bull. Hist. Med.*: 83 (4) 746–774

- EYLER, John M.: The Fog of Research: Influenza Vaccine Trials during the 1918–19 Pandemic: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 64 (4) 401–428
- GABRIEL, Joseph M.: A Thing Patented is a Thing Divulged: Francis E. Stewart, George S. Davis, and the Legitimization of Intellectual Property Rights in Pharmaceutical Manufacturing, 1879–1911: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 64 (2) 135–172
- GRAMLICH-OKA, Bettina: The Body Economic: Japan’s Cholera Epidemic of 1858 in Popular Discourse: East Asian Science, Technology, and Medicine: (30) 32–73
- GREEN, Monica H.: The Sources of Eucharius Rosslin’s ‘Rosegarden for Pregnant Women and Midwives’ (1513): *Medical History*: 53 (2) 167–192
- GREENE, J. A. / PODOLSKY, S. H.: Keeping Modern in Medicine: Pharmaceutical Promotion and Physician Education in Postwar America: *Bull. Hist. Med.*: 83 (2) 331–377
- HEDGECOE, Adam: “A Form of Practical Machinery”: The Origins of Research Ethics Committees in the UK, 1967–1972: *Medical History*: 53 (3) 331–350
- HEININGEN, T W V: Jean-Baptiste Sarlandiere’s Mechanical Leeches (1817–1825): An Early Response in the Netherlands to a Shortage of Leeches: *Medical History*: 53 (2) 253–270
- HIONIDOU, Violetta: ‘It was a bridge from life to death’: Hospitals during the Food Crisis, Greece 1941–1944: *So. Hist. Med.*: 22 (2) 361–386
- HIRSHBEIN, Laura D.: Gender, Age, and Diagnosis: The Rise and Fall of Involutional Melancholia in American Psychiatry, 1900–1980: *Bull. Hist. Med.*: 83 (4) 710–745
- HOCHMAN, Gilberto: Priority, Invisibility and Eradication: The History of Smallpox and the Brazilian Public Health Agenda: *Medical History*: 53 (2) 229–252
- JANNETTA, Ann: Jennerian Vaccination and the Creation of a National Public Health Agenda in Japan, 1850–1900: *Bull. Hist. Med.*: 83 (1) 125–140
- JASEN, Patricia: From the “Silent Killer” to the “Whispering Disease”: Ovarian Cancer and the Uses of Metaphor: *Medical History*: 53 (4) 489–512
- JENNINGS, Eric T.: Confronting Rabies and Its Treatments in Colonial Madagascar, 1899–1910: *So. Hist. Med.*: 22 (2) 263–282
- JENSEN, Niklas Thode: Safeguarding Slaves: Smallpox, Vaccination, and Governmental Health Policies among the Enslaved Population in the Danish West Indies, 1803–1848: *Bull. Hist. Med.*: 83 (1) 95–124
- JOHNSON, Ryan: European Cloth and “Tropical” Skin: Clothing Material and British Ideas of Health and Hygiene in Tropical Climates: *Bull. Hist. Med.*: 83 (3) 530–560
- JOHNSTON, William D.: Sexually Transmitted Diseases and Demographic Change in Early Modern Japan: East Asian Science, Technology, and Medicine: (30) 74–92
- JONES, E. / RAHMAN, S.: The Maudsley Hospital and the Rockefeller Foundation: The Impact of Philanthropy on Research and Training: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 64 (3) 273–299
- JORI, Alberto: Medizinische Bildung für Laien: Der Beitrag Plutarchs: *Sudhoffs Archiv*: 93 (1) 67–82
- KERNAHAN, Peter J.: Causation and Cleanliness: George Callender, Wounds, and the Debates over Listerism: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 64 (1) 1–37
- KIRK, Robert G. W.: Between the Clinic and the Laboratory: Ethology and Pharmacology in the Work of Michael Robin Alexander Chance, c.1946–1964: *Medical History*: 53 (4) 513–536
- LARSSON, Marina: Families and Institutions for Shell-Shocked Soldiers in Australia after the First World War: *So. Hist. Med.*: 22 (1) 97–114
- LO, Vivienne: But is it [History of] Medicine? Twenty Years in the History of the Healing Arts of China: *So. Hist. Med.*: 22 (2) 283–304
- LOFFLER, Anette: Den Grundlagen auf der Spur. Die Erforschung der mittelalterlichen medizinischen Handschriften in Leipzig durch Karl Sudhoff und Henry Ernest Sigerist: *Sudhoffs Archiv*: 93 (2) 171–183
- LOUGHRAN, Tracey: Shell-Shock and Psychological

- Medicine in First World War Britain: *So. Hist. Med.*: 22 (1) 79–96
- MACDONALD, Helen: *Procuring Corpses: The English Anatomy Inspectorate, 1842 to 1858: Medical History*: 53 (3) 379–396
- MARK, C. / RIGAU-PEREZ, J. G.: *The World's First Immunization Campaign: The Spanish Smallpox Vaccine Expedition, 1803–1813: Bull. Hist. Med.*: 83 (1) 63–94
- MARLAND, H. / ADAMS, J.: *Hydropathy at Home: The Water Cure and Domestic Healing in Mid-Nineteenth-Century Britain: Bull. Hist. Med.*: 83 (3) 499–529
- MCPAKE, Barbara: *Hospital Policy in Sub-Saharan Africa and Post-Colonial Development Impasse: So. Hist. Med.*: 22 (2) 341–360
- MELLING, J. / DALE, P.: *Medical Officers of Health, Gender and Government Responses to the Problem of Cancer in Britain, 1900–1940: Medical History*: 53 (4) 537–560
- MILLER, Ian: *Necessary Torture? Vivisection, Suffragette Force-Feeding, and Responses to Scientific Medicine in Britain c. 1870–1920: J. Hist. Med. Allied Sci.*: 64 (3) 333–372
- MILLS, Dennis: *Public Health, Environment and Surveying: So. Hist. Med.*: 22 (1) 153–164
- MINSKY, Lauren: *Pursuing Protection from Disease: The Making of Smallpox Prophylactic Practice in Colonial Punjab: Bull. Hist. Med.*: 83 (1) 161–190
- MOSBY, Ian: *'That Won-Ton Soup Headache': The Chinese Restaurant Syndrome, MSG, and the Making of American Food, 1968–1980: So. Hist. Med.*: 22 (1) 133–152
- NAKAYAMA, Shigeru: *Incommensurability Between Western Geometrical and Chinese Numericoalgebraic Astronomy—Takebe Katahiro's Interpretation of Planetary Limit Degrees: East Asian Science, Technology, and Medicine*: (30) 93–102
- NEILL, Deborah: *Paul Ehrlich's Colonial Connections: Scientific Networks and Sleeping Sickness Drug Therapy Research, 1900–1914: So. Hist. Med.*: 22 (1) 61–78
- PALMER, Steven: *Migrant Clinics and Hookworm Science: Peripheral Origins of International Health, 1840–1920: Bull. Hist. Med.*: 83 (4) 676–709
- PARASCANDOLA, John: *Quarantining Women: Venereal Disease Rapid Treatment Centers in World War II America: Bull. Hist. Med.*: 83 (3) 431–459
- PEITZMAN, Steven J.: *'I Am Their Physician': Dr. Owen J. Wister of Germantown and His Too Many Patients: Bull. Hist. Med.*: 83 (2) 245–270
- PIETIKAINEN, Petteri: *Strengthening the Will: Public Clinics for the Nervously Ill in Sweden in the First Half of the Twentieth Century: So. Hist. Med.*: 22 (1) 115–132
- PRANGHOFER, Sebastian: *'It could be Seen more Clearly in Unreasonable Animals than in Humans': The Representation of the Rete Mirabile in Early Modern Anatomy: Medical History*: 53 (4) 561–586
- PROSS, Christian: *The Attitude of German Emigre Doctors Towards Medicine under National Socialism: So. Hist. Med.*: 22 (3) 531–552
- REYES, Raquel A.: *Sex, Masturbation and Foetal Death: Filipino Physicians and Medical Mythology in the Late Nineteenth Century: So. Hist. Med.*: 22 (1) 45–60
- ROBERTS, M. J. D.: *The Politics of Professionalization: MPs, Medical Men, and the 1858 Medical Act: Medical History*: 53 (1) 37–56
- ROBERTSON, Jo: *The Leprosy Asylum in India: 1886–1947: J. Hist. Med. Allied Sci.*: 64 (4) 474–517
- ROSNER, D. / MARKOWITZ, G.: *The Trials and Tribulations of Two Historians: Adjudicating Responsibility for Pollution and Personal Harm: Medical History*: 53 (2) 271–292
- RUSNOCK, Andrea: *Catching Cowpox: The Early Spread of Smallpox Vaccination, 1798–1810: Bull. Hist. Med.*: 83 (1) 17–36
- SACHS, Michael: *Der Tod des Grafen Johann Erdmann von Promnitz (1719–1785) an den Folgen eines inkarzerierten Gallengangsteines—eine Analyse der epikrise des behandelnden Chirurgen aus dem Jahre*

- 1785: *Sudhoffs Archiv*: 93 (2) 230–234
- SAPPOL, Michael: The Odd Case of Charles Knowlton: Anatomical Performance, Medical Narrative, and Identity in Antebellum America: *Bull. Hist. Med.*: 83 (3) 460–498
- SCHNEIDER, William H.: Smallpox in Africa during Colonial Rule: *Medical History*: 53 (2) 193–227
- SCHUTZ, Alexander: Die Wahrheit entdecken. Garcia da Orta und die, Gespräche über die einfachen Heilmittel, (Goa 1563): *Sudhoffs Archiv*: 93 (1) 26–66
- SCHWABE, Fabian: Fragment eines altwestnordischen Arzneibuches aus dem 13. Jahrhundert: *Sudhoffs Archiv*: 93 (2) 201–214
- SCULL, A. / SCHULKIN J.: Psychobiology, Psychiatry, and Psychoanalysis: The Intersecting Careers of Adolf Meyer, Phyllis Greenacre, and Curt Richter: *Medical History*: 53 (1) 5–36
- SHEPHERD, Michael: The Impact of Germanic Refugees on Twentieth-Century British Psychiatry: *So. Hist. Med.*: 22 (3) 461–469
- SMITS, Gregory: Warding off Calamity in Japan: A Comparison of the 1855 Catfish Prints and the 1862 Measles Prints: *East Asian Science, Technology, and Medicine*: (30) 9–31
- SZRETER, Simon: History, Policy and the Social History of Medicine: *So. Hist. Med.*: 22 (2) 235–244
- TOBBELL, Dominique A.: “Who’s Winning the Human Race?” Cold War as Pharmaceutical Political Strategy: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 64 (4) 429–473
- TURDA, Marius: “To End the Degeneration of a Nation”: Debates on Eugenic Sterilization in Interwar Romania: *Medical History*: 53 (1) 77–104
- VILLIEZ, Anna von: The Emigration of Women Doctors from Germany under National Socialism: *So. Hist. Med.*: 22 (3) 553–567
- WALTERS, Natalie: The Jernegan-Arundell Correspondence: *Medical History*: 53 (1) 117–126
- WARREN, Adam: An Operation for Evangelization: Friar Francisco Gonzalez Laguna, the Cesarean Section, and Fetal Baptism in Late Colonial Peru: *Bull. Hist. Med.*: 83 (4) 647–675
- WASSMANN, Claudia: Physiological Optics, Cognition and Emotion: A Novel Look at the Early Work of Wilhelm Wundt: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 64 (2) 213–249
- WEINDLING, Paul: Medical Refugees in Britain and the Wider World, 1930–1960: Introduction: *So. Hist. Med.*: 22 (3) 451–459
- WEINDLING, Paul: Medical Refugees and the Modernisation of British Medicine, 1930–1960: *So. Hist. Med.*: 22 (3) 489–511
- WEISSER, Olivia: Boils, Pushes, and Wheals: Reading Bumps on the Body in Early Modern England: *So. Hist. Med.*: 22 (2) 321–340
- WEITZEL, Hans: Zu den Himmelsphänomenen auf A.Durers Stich Melencolia I: *Sudhoffs Archiv*: 93 (2) 127–170
- WILDE, S. / HIRST, G.: Learning from Mistakes: Early Twentieth-Century Surgical Practice: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 64 (1) 38–77
- WILDE, Sally: Truth, Trust, and Confidence in Surgery, 1890–1910: Patient Autonomy, Communication, and Consent: *Bull. Hist. Med.*: 83 (2) 302–330
- YOSHIKAWA, Naoe Kukita: Holy Medicine and Diseases of the Soul: Henry of Lancaster and Le Livre de Seyntz Medicines: *Medical History*: 53 (3) 397–414
- ZALASHIK, R. / DAVIDOVITCH, N.: Professional Identity across the Borders: Refugee Psychiatrists in Palestine, 1933–1945: *So. Hist. Med.*: 22 (3) 569–587
- ZAMET, John: The Anschluss and the Problem of Refugee Stomatologists: *So. Hist. Med.*: 22 (3) 471–488